

# 岐阜県在宅重症心身障がい児者等実態調査結果報告書

平成27年度

岐阜県健康福祉部

地域医療推進課障がい児者医療推進室

## 目 次

I	調査の概要	
1	調査の目的	・・・ 1
2	調査方法	・・・ 1
3	調査対象	・・・ 1
4	調査期間	・・・ 1
5	調査内容	・・・ 1
6	調査結果の概要	・・・ 2
II	定義について	・・・ 3
III	在宅重症心身障がい児者の状況	
1	重症心身障がい児者数	・・・ 4
2	重症心身障がい児者の状況	・・・ 4
3	手帳の所持状況及び障がいの程度	・・・ 6
4	N I C Uの入院について	・・・ 7
5	本人の身体状況	・・・ 11
IV	介護者の状況	
1	主たる介護者について	・・・ 16
V	医療サービスの利用状況	
1	医療サービスの利用状況	・・・ 20
VI	福祉サービスの利用状況	
1	福祉サービスの利用状況	・・・ 27
VII	重症心身障がい児者等入所施設について	
1	重症心身障がい児者等入所施設について	・・・ 32

## I 調査の概要

### 1 調査の目的

在宅で暮らす重症心身障がい児者等は年々増加しているが、在宅医療を担う医師、看護師等の不足、さらに在宅生活を支える福祉サービスの不足など、その支援体制は未だ不十分である。

このため、岐阜県内に在住する在宅の重症心身障がい児者等の生活実態や支援ニーズを把握し、今後の支援策等の充実に向けた基礎資料とすることを目的に本調査を実施した。

### 2 調査方法

- (1) 自記式質問調査法を基本に、必要に応じて調査員の電話、訪問による聞き取り調査を併用調査票（別添）を郵送配布し郵送にて回収
- (2) 統計法に基づく届出統計調査として実施
- (3) 調査実務の一部を公益社団法人岐阜県看護協会に委託（緊急雇用創出事業臨時特例基金事業（地域人づくり事業）の「障がい児者在宅医療支援連携推進員育成事業」の一環として実施）
- (4) 調査結果入力・管理用名簿と郵送用名簿を別管理とし、氏名と調査結果を容易に対照できない体制とするほか、プライバシーの管理の観点から、調査票には住所氏名を記載しない仕様として実施した。

### 3 調査対象

調査にあたっては、岐阜県及び岐阜市が保有する身体障害者手帳取得者情報と、岐阜県が保有する療育手帳取得者情報をもとに在宅で生活する以下の方々を対象とした。

- (1) 身体障害者手帳 1 級または 2 級（肢体不自由の体幹・下肢・移動機能）を持つ 18 歳未満の方
- (2) 身体障害者手帳 1 級または 2 級（肢体不自由の体幹・下肢・移動機能）かつ療育手帳 A または A1 または A2 を併せ持つ 18 歳以上の方

### 4 調査期間

平成 26 年 8 月～平成 27 年 9 月

回答は、平成 26 年 7 月 1 日現在の状況として記載。

### 5 調査内容

- (1) 回答者の続柄、連絡先電話番号
- (2) 本人について
  - ・氏名、住所の訂正の有無、生年月日
  - ・生活拠点（在宅・入所・その他）、就学状況
  - ・手帳の取得状況と障がいの程度、各種手当等の受給、本人の状況
  - ・出生時の NICU の入院等の有無
  - ・診断名、医療的ケアの状況（超重症児・準超重症児スコア）、身体状況・姿勢、移動、てんかん発作及び服薬の有無、食事、排泄等の状況
- (3) 主たる介護者について
  - ・主たる介護者の続柄と健康状態及び睡眠時間、交代できる介護者の有無

- ・ 医療的ケアが必要な場合の主たる介護者の続柄、交代できる介護者の有無
- (4) 介護するうえで負担と感じていること
- (5) 頼りにしている相談先・相談相手
- (6) 日頃の不安・不満を感じていること
- (7) 医療サービスの利用状況等
  - ・ 訪問診療、通院、入院、訪問看護、リハビリの利用機関名と主治医の氏名及び利用周期、  
歯科、訪問薬剤管理指導、病児保育の利用機関名
  - ・ かかりつけ医を決めるにあたって重視すること
  - ・ 急変時の診療時間外の受診医療機関について
  - ・ 今後使いたい医療サービスについて
- (8) 福祉サービスの利用状況等
  - ・ 訪問系サービス、日中活動サービス、レスパイト系サービス、18歳未満児を対象としたサービス等の利用施設名及び利用周期
  - ・ 今後使いたい福祉サービスについて
- (9) 重症心身障がい者等入所施設について
  - ・ 入所希望の有無、その理由と入所時期
- (10) 施設入所を検討するうえで重視すること
- (11) 新たな施設整備する場合の立地場所について
- (12) その他 行政に対する要望等

## 6 調査結果の概要

### ■調査対象者の内訳

調査対象	1,453
在宅	877
在宅のうち 調査票回収者	810
調査回答者のうち 重症心身障がい児者該当	676
施設入所	308
調査不能	268

### ■調査不能者 268 人の内訳

未回答（電話確認不在）	204
宛先不明にて返送等	41
死亡	10
寄宿舍	6
身体障害 3 級	2
県外転出	2
その他外国人等回答不能	3

調査対象者は 1,453 人で、在宅の方 877 人、施設入所の方 308 人、調査不能 268 人であった。調査不能者のうち、返信のなかった方へ電話にて所在確認を行ったが、不在・電話が繋がらないなど全く不明の方が 204 人であった。

在宅で生活している障がい児者は、877 人（電話確認を含む）であり、うち、調査票の回答のあった 810 人を在宅で生活する障がい児者として判断し、重症心身障がい児者については、すべての方が療育手帳を取得していないため、18 歳以上は身体障害者手帳 1 級・2 級及び療育手帳の A・A1・A2 を併せ持つ方、18 歳未満は、身体障害者手帳 1 級・2 級及び療育手帳の A・A1・A2 を併せ持つ方と家族が重症心身障がいと回答した方を加えた計 676 人を重症心身障がい児者としてその状況をまとめた。

## II 各種定義について

### <身体障害者手帳の基準>

(肢体不自由)

1級 下肢：両下肢の機能を全廃したもの

体幹：体幹の機能障害により座っていることができないもの

移動機能：不随意運動・失調等により歩行が不可能なもの

2級 下肢：両下肢の機能の著しい障害

体幹：体幹の機能障害により、座位また起立位を保つことが困難なもの

体幹の機能障害により立ち上がることが困難なもの

移動機能：不随意運動・失調等により歩行が極度に制限されるもの

### <療育手帳の基準>

A 1 ①基本的な生活習慣が未形成のため、常時すべての面で介助が必要

②多動、自他傷、拒食等の行動が顕著であるため常時の付添監護が必要

③身体的健康に嚴重な看護が必要

④知能指数がおおむね20以下

A 2 ①基本的な生活習慣が未形成のため、常時多くの面で介助が必要

②多動、自閉等の行動があり常時の監護が必要

③身体的健康に常時の注意及び看護が必要

④知能指数がおおむね35以下

※平成11年度以前はA1、A2の区分なく、全てAとされており、今もAのままのケースがある。

### <医療スコアについて>

日常生活上の医学的管理の内容を点数化し、医療依存度を数値化

下記点数の合計が25点以上を超重症児者、10点以上を準超重症児者と称する。※( )内は点数

#### ■呼吸管理

人工呼吸器(10) 気管内挿管・気管切開(8)

鼻咽頭エアウェイ(8)、酸素吸入(5)、

1時間1回以上の吸引(8)、1日6回以上の吸引(5)

ネブライザーの常時使用(5)・1日3回以上使用(3)

#### ■食事機能

IVH(中心静脈栄養)(10)、経管栄養(5)、腸管栄養(8)、経口全介助(3)

#### ■他の項目

血液透析(10)、定期導尿・人工肛門(5)、体位交換1日6回以上(3)

### Ⅲ 在宅重症心身障がい児者の状況

#### 1 重症心身障がい児者数

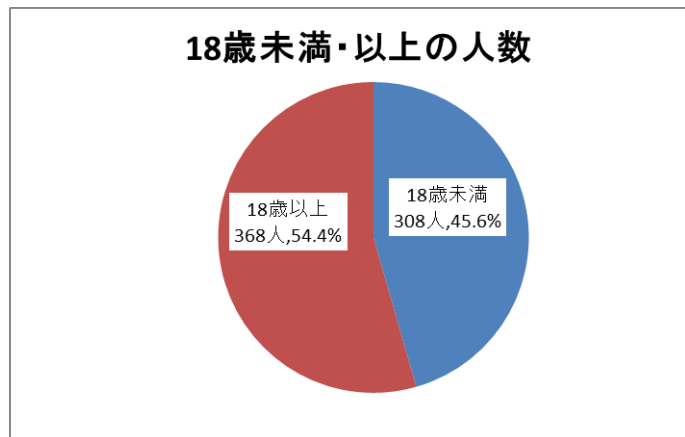
岐阜県内で在宅生活を送る重症心身障がい児者は 676 人おり、そのうち 18 歳未満は 308 人、18 歳以上は 368 人であった。

#### ■重症心身障がい児者数（年齢階級別） (人)

	0 ～ 4	5 ～ 9	10 ～ 14	15 ～ 19	20 ～ 24	25 ～ 29	30 ～ 34	35 ～ 39	40 ～ 44	45 ～ 49	50 ～ 54	55 ～ 59	60 歳 以上	計
重症心身障がい児者	64	86	101	101	81	72	45	36	38	17	15	10	10	676

#### ■年齢区分

	人数	割合 (%)
18 歳未満	308	45.6
18 歳以上	368	54.4
合計	676	100.0



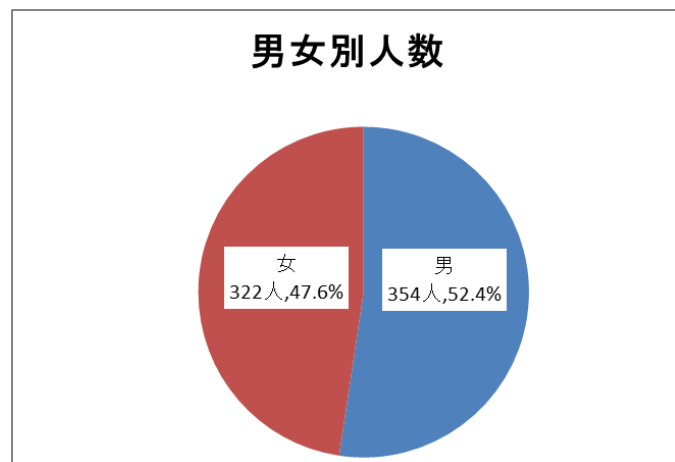
#### 2 重症心身障がい児者の状況

##### (1) 男女別・年齢別の状況

在宅で生活している重症心身障がい児者は、男性が 354 人、女性が 322 人で、年齢別では「10～14 歳」「15～19 歳」がそれぞれ 101 人と最も多く、平均年齢は 21.6 歳となっている。

#### ■男女別

	人数	割合 (%)
男	354	52.4
女	322	47.6
合計	676	100.0

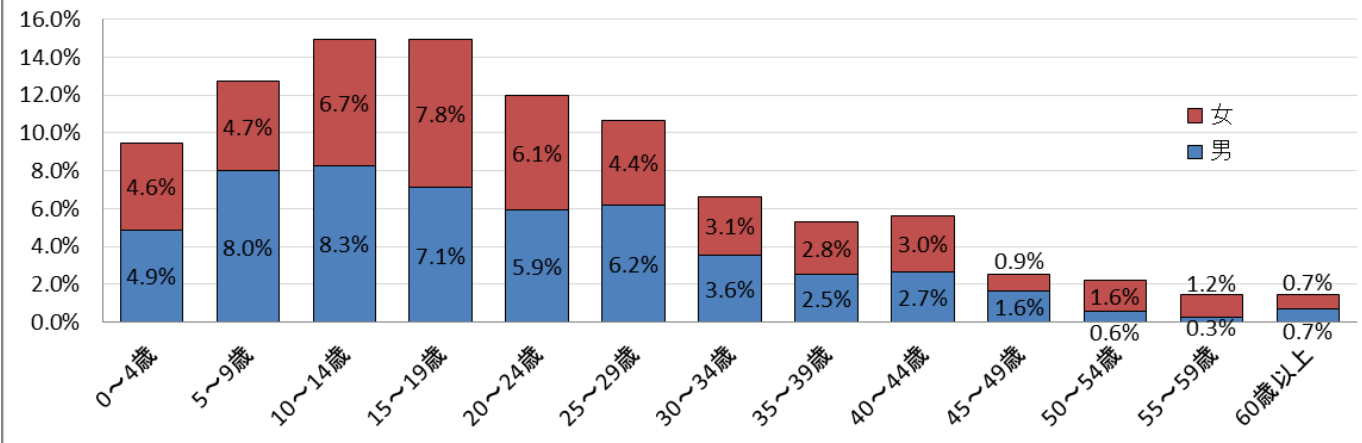


■男女別・年齢階級別重症心身障がい児者数

(人)

	0～ 4	5～ 9	10～ 14	15～ 19	20～ 24	25～ 29	30～ 34	35～ 39	40～ 44	45～ 49	50～ 54	55～ 59	60歳 以上	合計
計	64	86	101	101	81	72	45	36	38	17	15	10	10	676
男	33	54	56	48	40	42	24	17	18	11	4	2	5	354
女	31	32	45	53	41	30	21	19	20	6	11	8	5	322

年齢別重症心身障がい児者割合



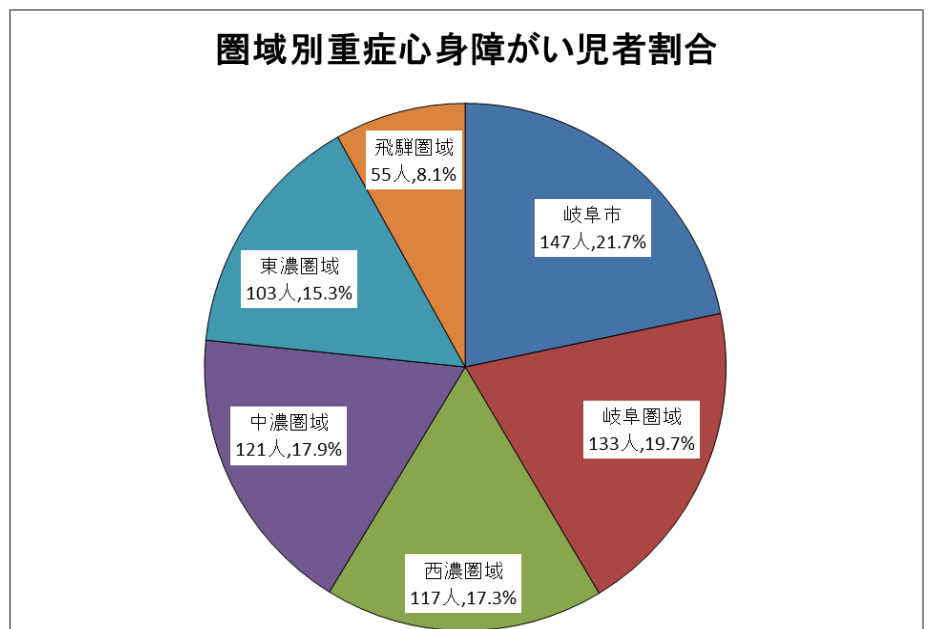
(2) 圏域別の状況

圏域別では、岐阜市、岐阜圏域で全体の4割を占める。飛騨圏域は1割以下と少ない。

■圏域別

圏域	人数	割合 (%)
岐阜市	147	21.7
岐阜圏域	133	19.7
西濃圏域	117	17.3
中濃圏域	121	17.9
東濃圏域	103	15.3
飛騨圏域	55	8.1
合計	676	100.0

圏域別重症心身障がい児者割合



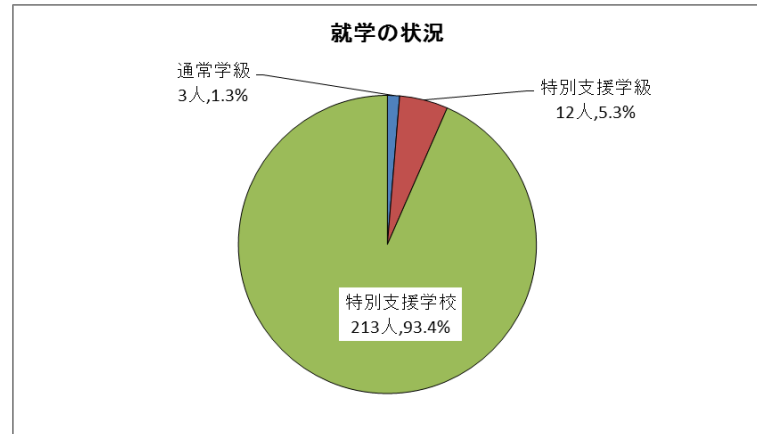
(3) 就学の状況

就学状況は、就学年齢の児童生徒は 228 人であり、全員がいずれかの学校に在籍しており、そのほとんどが特別支援学校である。

■就学状況 (人)

	通常学級	特別支援学級	特別支援学校
小	1	3	104
中	1	5	58
高	1	4	51
合計	3 (1.3)	12 (5.3)	213 (93.4)

※ ( ) 内は割合



3 手帳の所持状況及び障がいの程度

(1) 身体障害者手帳、療育手帳の所持状況

身体障害者手帳 1 級及び療育手帳 A1 を併せ持つ方が 360 人と最も多い。

■身体障害者手帳の所持状況

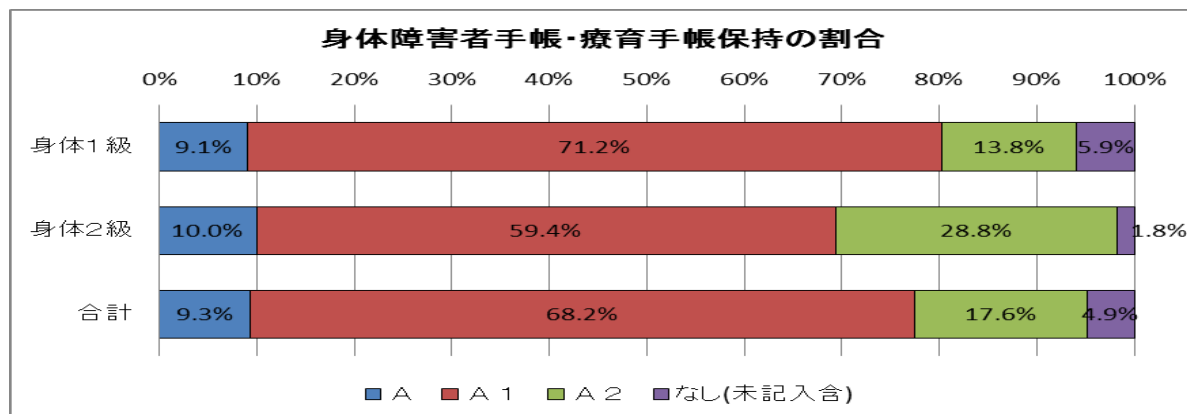
	人数	割合 (%)
1 級	506	74.9
2 級	170	25.1
合計	676	100.0

■療育手帳の所持状況

	人数	割合 (%)
A	63	9.3
A1	461	68.2
A2	119	17.6
なし (未記入含)	33	4.9
合計	676	100.0

■身体障害者手帳・療育手帳の所持状況 (人)

	A	A1	A2	なし(未記入含)	合計
身体1 級	46	360	70	30	506
身体2 級	17	101	49	3	170
合計	63	461	119	33	676



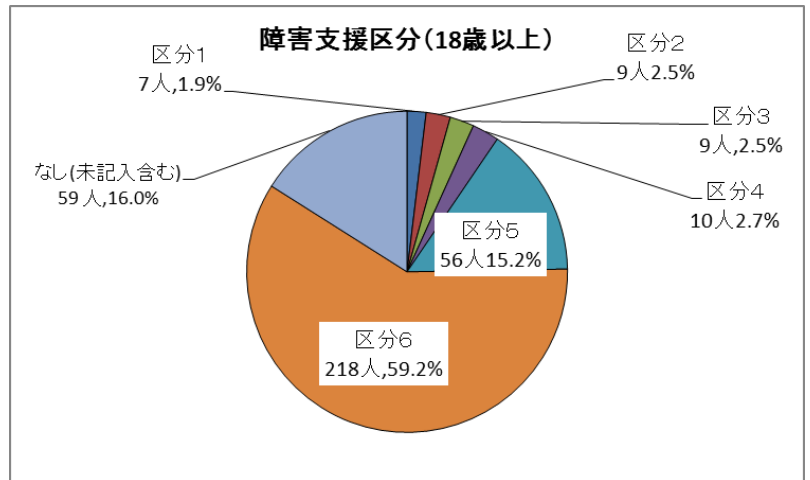


(2) 障がい支援区分、児童区分

障がい支援区分は、最も重度である「区分6」が最も多く、児童区分は、「区分3」を取得している方が最も多い。

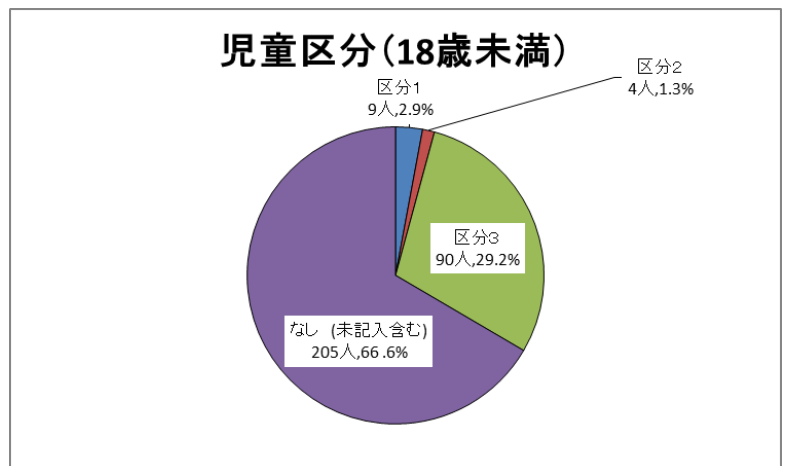
■障がい支援区分（18歳以上）

	人数	割合(%)
区分1	7	1.9
区分2	9	2.5
区分3	9	2.5
区分4	10	2.7
区分5	56	15.2
区分6	218	59.2
なし(未記入含む)	59	16.0
合計	368	100.0



■児童区分（18歳未満）

	人数	割合(%)
区分1	9	2.9
区分2	4	1.3
区分3	90	29.2
なし(未記入含む)	205	66.6
合計	308	100.0



(3) 手当での受給状況

■各種手当での受給

	人数	割合(%)
あり	665	98.4
なし(未記入含む)	11	1.6
合計	676	100.0

4 NICUの入院について

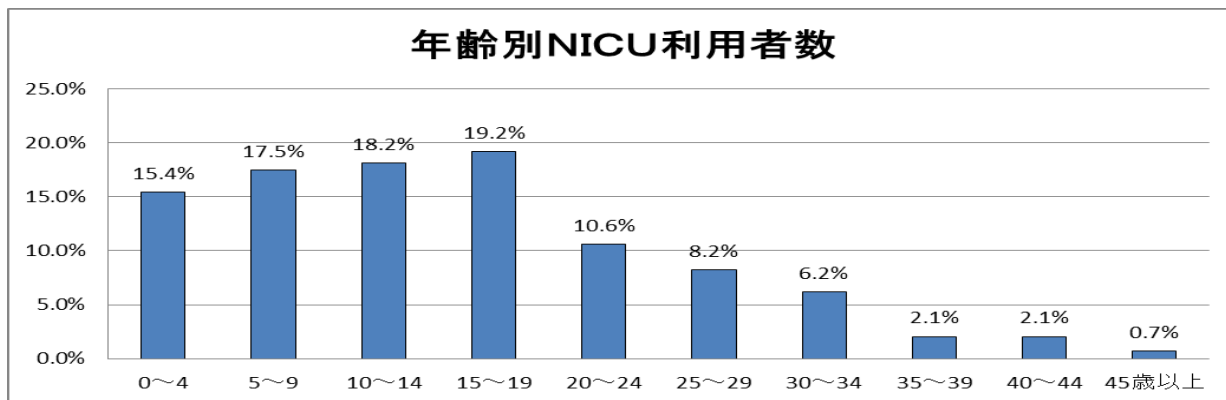
NICUに入院した経験のある方は、292人(43.2%)であった。年齢別では、10歳代までの利用は5歳階級別で見ても、いずれも15%以上であるが、20歳代以降は年齢が高くなるにつれNICU入院者が減っている。重症度別にみると14歳以下の超・準超重症児は、NICU入院経験者が多い。

■NICU 入院の有無

	人数	割合(%)
入院した	292	43.2
入院していない	384	56.8
合計	676	100.0

■超・準超重症児者の NICU 入院の有無

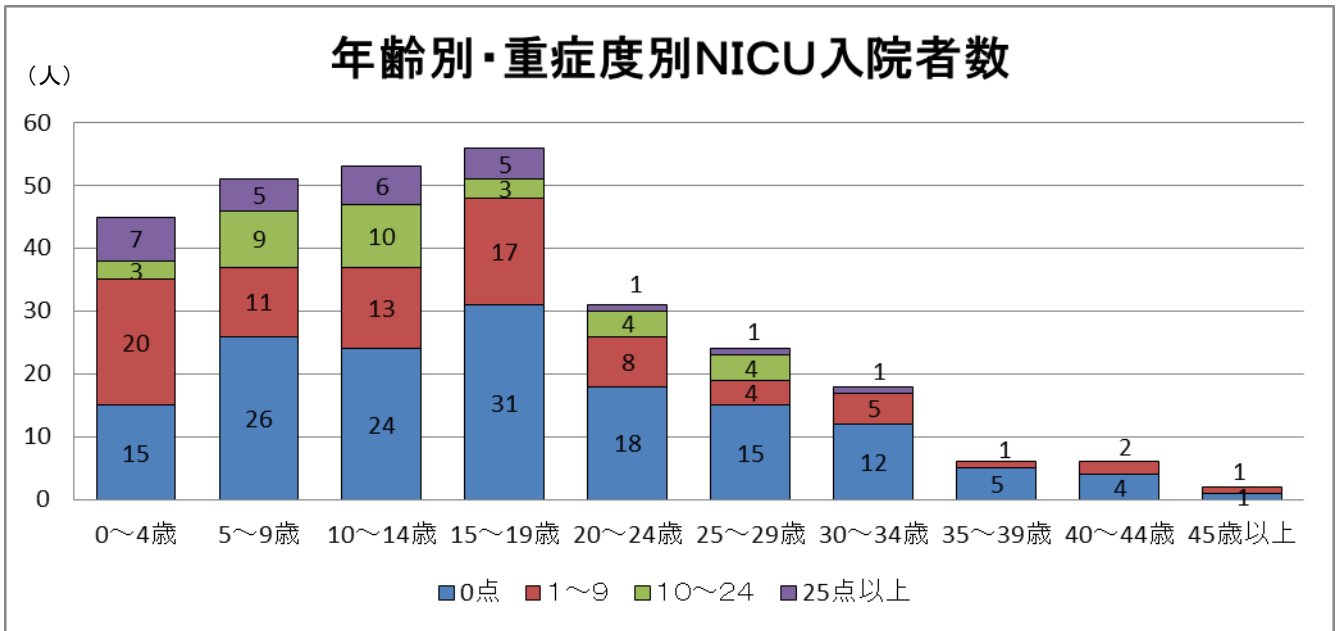
	人数	割合(%)
入院した	59	52.7
入院していない	53	47.3
合計	112	100.0



■年齢別 NICU 入院有無別重症児者数

(人)

年齢	入院有無	0点	1～9	10～24	25点以上	合計
0～4	入院有	15	20	3	7	45
	入院無	14	4	1	0	19
5～9	入院有	26	11	9	5	51
	入院無	21	7	3	4	35
10～14	入院有	24	13	10	6	53
	入院無	27	14	6	1	48
15～19	入院有	31	17	3	5	56
	入院無	19	20	5	1	45
20～24	入院有	18	8	4	1	31
	入院無	26	16	3	5	50
25～29	入院有	15	4	4	1	24
	入院無	25	12	9	2	48
30～34	入院有	12	5	0	1	18
	入院無	14	9	4	0	27
35～39	入院有	5	1	0	0	6
	入院無	16	10	3	1	30
40～44	入院有	4	2	0	0	6
	入院無	20	8	2	2	32
45歳以上	入院有	1	1	0	0	2
	入院無	37	12	0	1	50
合計	入院有	151	82	33	26	292
	入院無	219	112	36	17	384

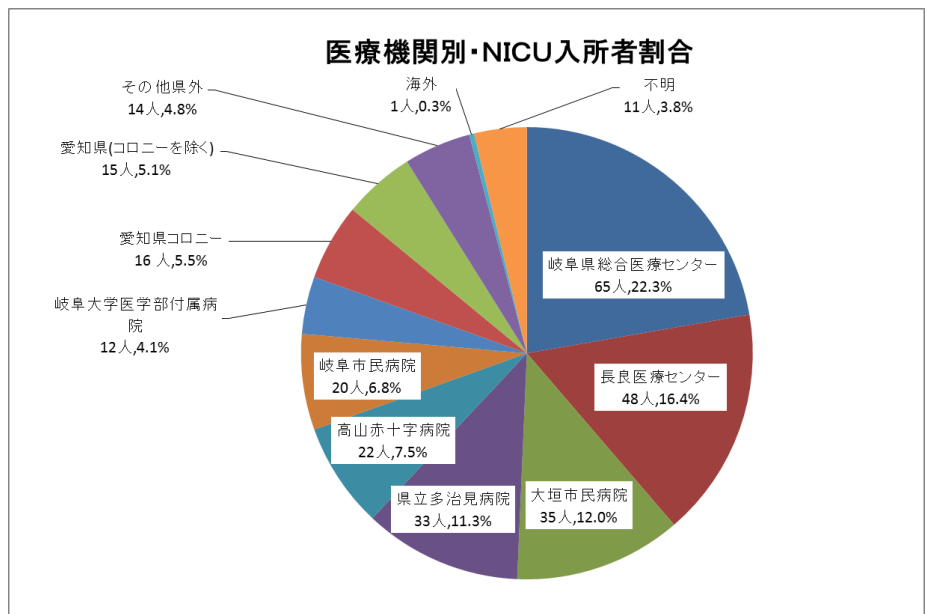


(3) 医療機関別 NICU 利用数

NICU に入院した医療機関は、岐阜県総合医療センターが最も多いが、約 15%の方が愛知県コロニーなど県外の NICU を利用している。

■NICU 利用者の医療機関

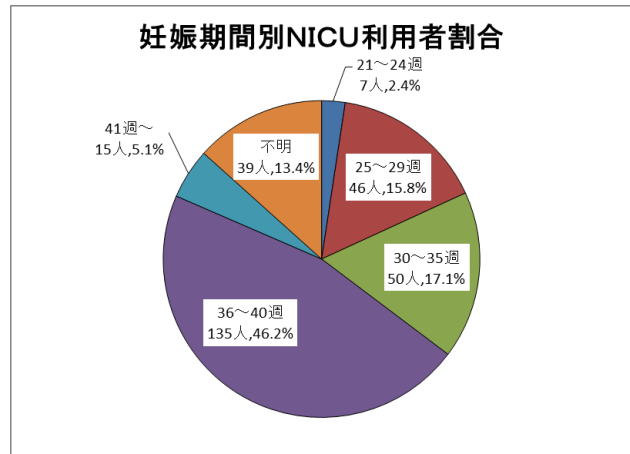
	人数
岐阜県総合医療センター	65
長良医療センター	48
大垣市民病院	35
県立多治見病院	33
高山赤十字病院	22
岐阜市民病院	20
岐阜大学医学部付属病院	12
愛知県コロニー	16
愛知県(コロニーを除く)	15
その他県外	14
海外	1
不明	11
合計	292



(4) 妊娠期間別 NICU 利用者数及び超・準重症児者の妊娠期間別 NICU 利用者  
妊娠期間別にみると 36～40 週の満期産がほぼ半数を占めている。

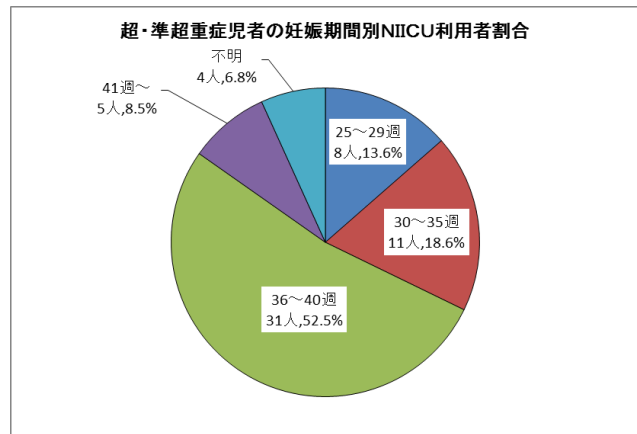
■妊娠期間別 NICU 利用者数

週数	人数	割合(%)
21～24	7	2.4
25～29	46	15.8
30～35	50	17.1
36～40	135	46.2
41～	15	5.1
不明	39	13.4
合計	292	100.0



■超・準重症児者の妊娠期間別 NICU 利用者

週数	人数	割合(%)
21～24	0	0.0
25～29	8	13.6
30～35	11	18.6
36～40	31	52.5
41～	5	8.5
不明	4	6.8
合計	59	100.0



(5) NICU 退院後の通院先とフォロー状況

県内の NICU として指定されている 7 施設に入院した方の、その後の通院先を見ると、医療機関別では NICU を退院した医療機関にそのまま通院している方が多いが、総数としては、地域の医療機関に通院しているケースが多い。

■NICU 利用者の入院機関とその後の通院先

(人)

通院先	NICU 利用者の入院機関						
	岐阜県総合医療センター	長良医療センター	大垣市民病院	県立多治見病院	高山赤十字病院	岐阜市民病院	岐阜大学医学部附属病院
岐阜県総合医療センター	65	48	35	33	23	20	12
大垣市民病院	2	12	27	3	2	5	2
高山赤十字病院	6	3			21		
長良医療センター	6	19		1	1	5	
希望が丘学園	11	5	5		2	2	
愛知県コロニー	4		2	19		1	
県立多治見病院	1			15			
岐阜大学病院	1	5	1	1			5
南大阪小児リハビリテーション病院	3	1			1		
静岡てんかん神経医療センター	3		1				
県立下呂温泉病院	2				1		
中津川市民病院	1			3			
あじろ診療所		7				1	2
その他	8	14	9	7	3	13	4
合計	95	66	48	48	31	27	14

※ はNICU退院後も引き続き同病院に通院していることを表す。

## 5 本人の身体的状況

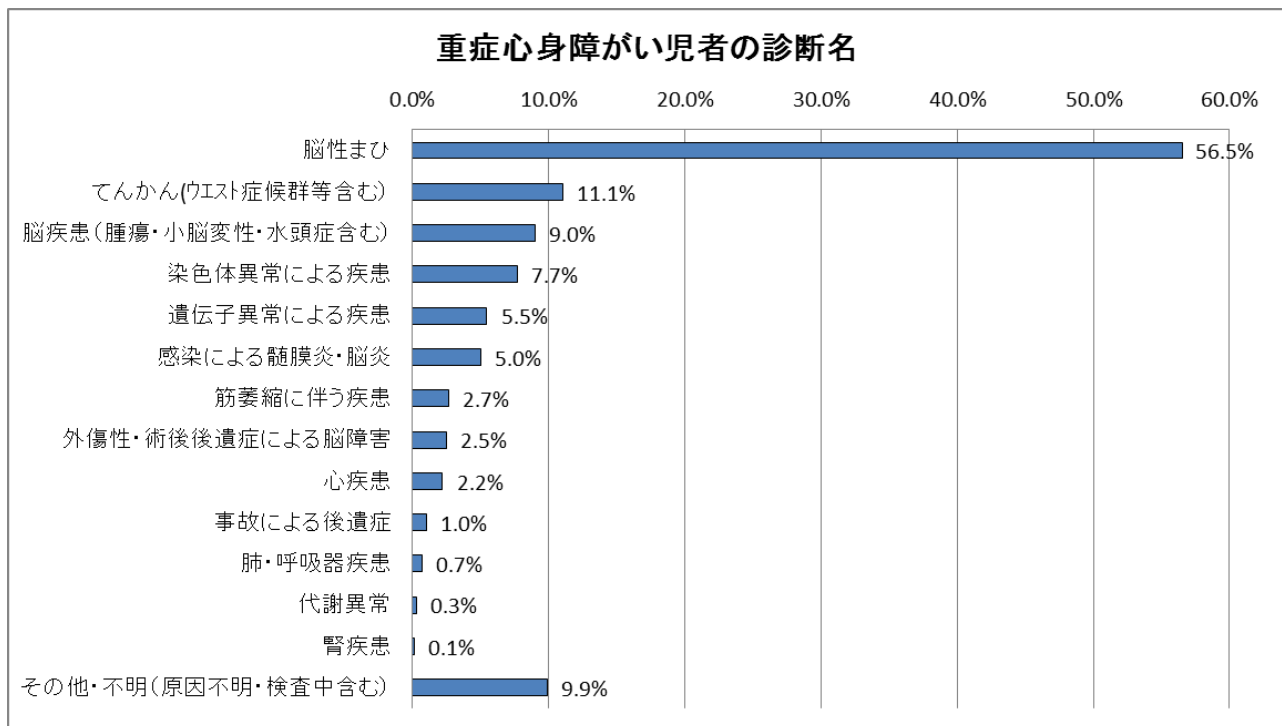
### (1) 診断名及び合併症

診断名は、脳性まひが最も多く、次いでてんかん、脳疾患、染色体異常による疾患の順となっている。

■全体及び超・準超重症児者別診断名 (人)

	診断名	全体	超重症児者	準超重症児者
1	脳性まひ	382	19	38
2	てんかん(ウエスト症候群等含む)	75	2	6
3	脳疾患(腫瘍・小脳変性・水頭症含む)	61	4	3
4	染色体異常による疾患	52	3	2
5	遺伝子異常による疾患	37	4	4
6	感染による髄膜炎・脳炎	34	1	8
7	筋萎縮に伴う疾患	18	6	1
8	外傷性・術後後遺症による脳障害	17	5	1
9	心疾患	15	0	3
10	事故による後遺症	7	0	1
11	肺・呼吸器疾患	5	0	3
12	代謝異常	2	0	2
13	腎疾患	1	0	1
14	その他・不明(原因不明・検査中含む)	67	3	2

(複数回答有)



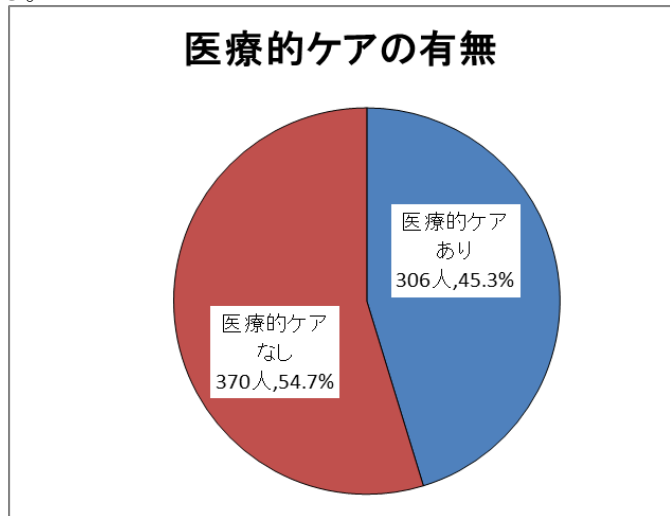
(2) 医療的ケアの状況

医療的ケアを必要とする方は、306人（45.3%）となっており、全体の約半数を占めている。

医療的ケアのうち食事に関する経口摂取（全介助）は173人（25.6%）、経管栄養（経鼻・胃ろうを含む）は125人（18.5%）と多く、医療スコアの高い気管内挿管、気管切開は59人（8.7%）、レスピレーター管理は31人（4.6%）となっている。

■医療的ケアの有無

	人数	割合(%)
あり	306	45.3
なし	370	54.7
合計	676	100.0



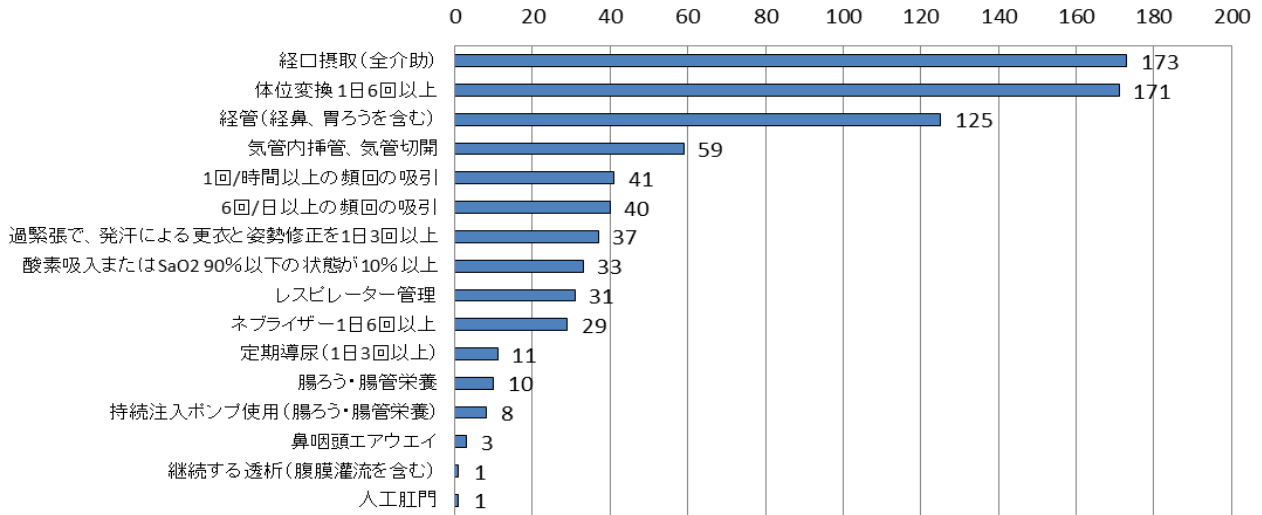
■必要な医療的ケア

医療的ケアの状況	スコア	人数	割合(%)
レスピレーター管理	(10)	31	4.6
気管内挿管、気管切開	(8)	59	8.7
鼻咽頭エアウェイ	(5)	3	0.4
酸素吸入または SaO2 90%以下の状態が 10%以上	(5)	33	4.9
1 回/時間以上の頻回の吸引	(8)	41	6.1
6 回/日以上以上の頻回の吸引	(3)	40	5.9
ネブライザー6 回/日以上または継続	(3)	29	4.3
IVH(中心静脈栄養)	(10)	0	0.0
経口摂取(全介助)	(3)	173	25.6
経管(経鼻、胃ろうを含む)	(5)	125	18.5
腸ろう・腸管栄養	(8)	10	1.5
持続注入ポンプ使用(腸ろう・腸管栄養)	(3)	8	1.2
手術・服薬にても改善しない過緊張で、発汗による更衣と姿勢修正を 3 回/日以上	(3)	37	5.5
継続する透析(腹膜灌流を含む)	(10)	1	0.1
定期導尿(3 回/日以上)	(5)	11	1.6
人工肛門	(5)	1	0.1
体位変換 6 回/日以上	(3)	171	25.3

(複数回答有)

### 在宅重症心身障がい児者の医療的ケア別人数

(人)

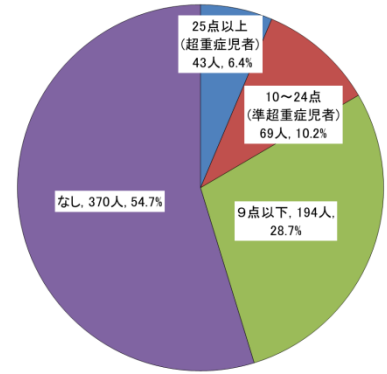


### ■年齢階級別・重症度別重症心身障がい児者数

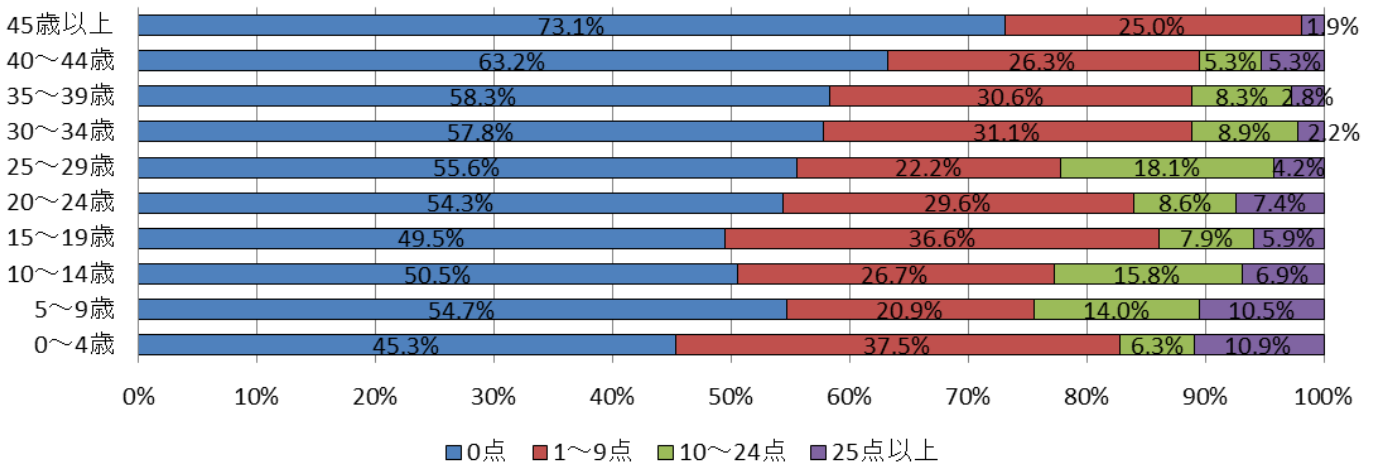
(人)

	0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	合計
	～	～	～	～	～	～	～	～	～	歳	
	4	9	14	19	24	29	34	39	44	以上	
0点	29	47	51	50	44	40	26	21	24	38	370
1～9点	24	18	27	37	24	16	14	11	10	13	194
10～24点	4	12	16	8	7	13	4	3	2	0	69
25点以上	7	9	7	6	6	3	1	1	2	1	43
計	64	86	101	101	81	72	45	36	38	52	676

### 在宅重症心身障がい児者の医療依存度割合



### 年齢階級別重症心身障がい児者割合



(3) 圏域別、重症度別の障がい児者の状況

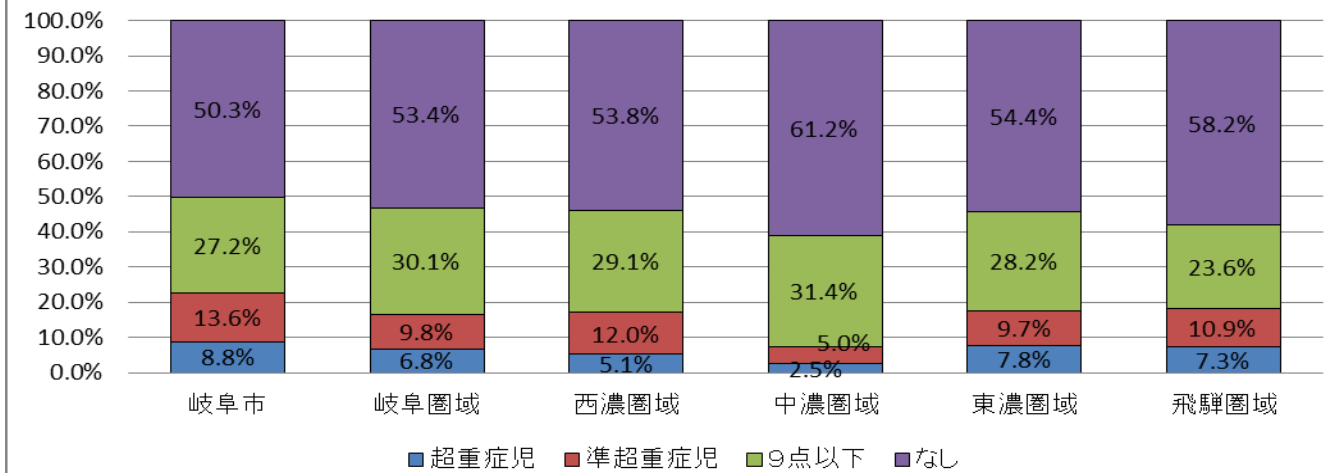
圏域別の超・準超重症児者の割合をみると、岐阜市、飛騨圏域、東濃圏域の順となっている。

■圏域別重症度合

(人)

	超重症児	準超重症児	9点以下	なし	小計
岐阜市	13	20	40	74	147
岐阜圏域	9	13	40	71	133
西濃圏域	6	14	34	63	117
中濃圏域	3	6	38	74	121
東濃圏域	8	10	29	56	103
飛騨圏域	4	6	13	32	55
合計	43	69	194	370	676

圏域別重症心身障がい児者割合

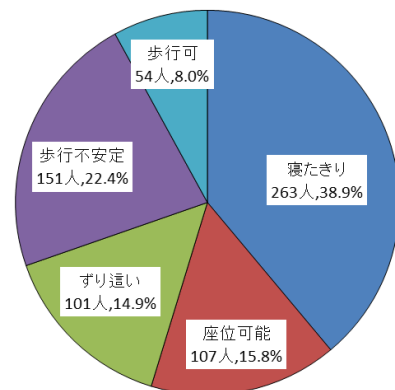


(4) 身体状況・姿勢・移動

■姿勢

	人数	割合(%)
寝たきり	263	38.9
座位可能	107	15.8
ずり這い	101	14.9
歩行不安定	151	22.4
歩行可	54	8.0
合計	676	100.0

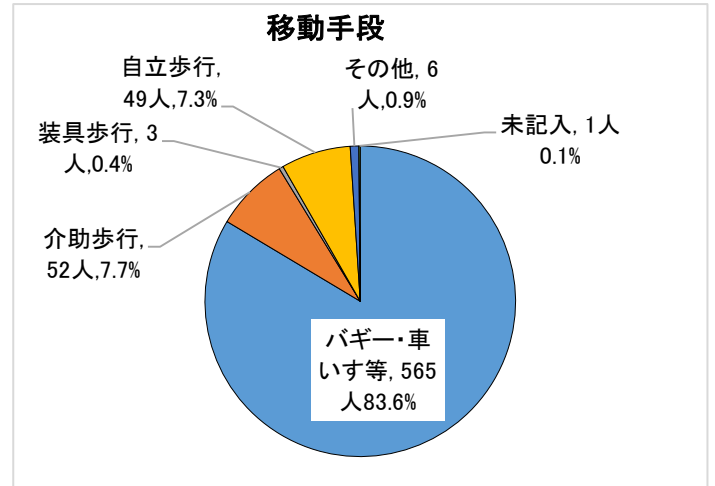
身体状況の割合





■移動手段

	人数	割合(%)
バギー・車いす等	565	83.6
介助歩行	52	7.7
装具歩行	3	0.4
自立歩行	49	7.3
その他	6	0.9
未記入	1	0.1
合計	676	100.0



(5) てんかん発作・服薬状況

■てんかん発作の有無

	人数	割合(%)
あり	387	57.2
なし(未記入を含む)	289	42.8
合計	676	100.0

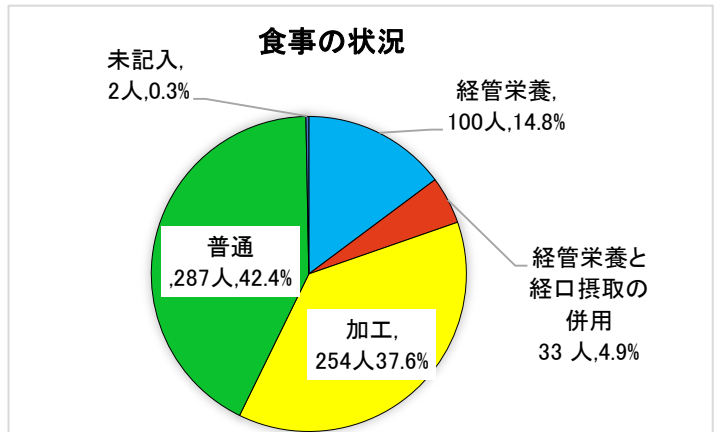
■服薬の有無

	人数	割合(%)
あり	403	59.6
なし(未記入を含む)	273	40.4
合計	676	100.0

(6) 食事の状況

■食事の状況

	人数	割合(%)
経管栄養	100	14.8
経管栄養と経口摂取の併用	33	4.9
加工	254	37.6
普通	287	42.4
未記入	2	0.3
合計	676	100.0



(7) 排泄・排便の状況

■排泄

	人数	割合(%)
オムツの使用	527	78.0
導尿	18	2.7
トイレ自立	87	12.9
トイレ介助	103	15.2
その他	2	0.3

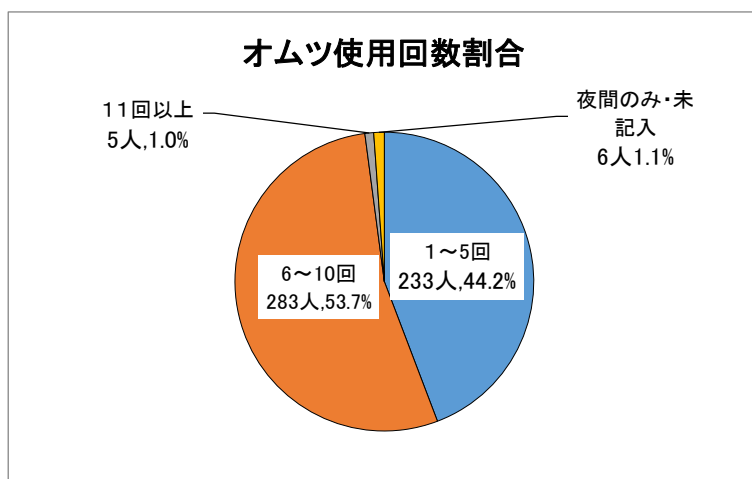
■排便援助の状況

	人数	割合(%)
通常排便	337	49.9
排便介助が必要	339	50.1
(排便介助のうち)浣腸	169	25.0
(排便介助のうち)下剤	113	16.7

(複数回答有)

■オムツ使用回数

	人数	割合(%)
1～5回	233	44.2
6～10回	283	53.7
11回以上	5	1.0
夜間のみ・未記入	6	1.1
合計	527	100.0



IV 介護者の状況

1 主たる介護者について

(1) 主たる介護者

主たる介護者は母親が多く、その年齢は40代・50代が半数を占めている。

■主たる介護者

	人数	割合(%)
母	634	93.8
父	13	1.9
祖父母	11	1.6
兄弟姉妹	12	1.8
配偶者	2	0.3
その他	4	0.6
合計	676	100.0

■主たる介護者の年齢

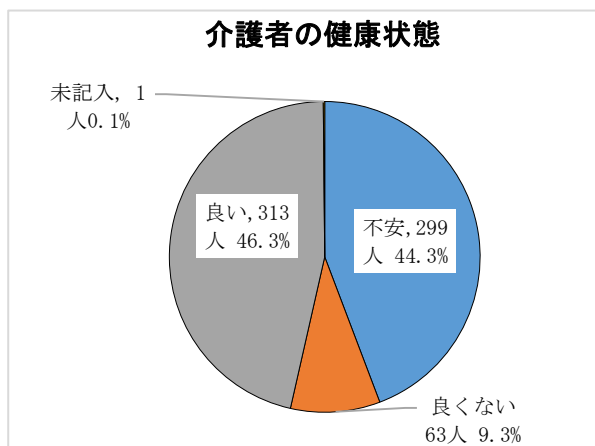
	人数	割合(%)
20歳代	9	1.3
30歳代	112	16.6
40歳代	204	30.2
50歳代	156	23.1
60歳代	118	17.4
70歳代	43	6.4
80歳代～	15	2.2
未記入	19	2.8
合計	676	100.0

(2) 主たる介護者の健康状態

介護者の健康状態は、「不安」「良くない」と答えている方が半数以上いる。

■主たる介護者の健康状態

	人数	割合(%)
不安	299	44.3
良くない	63	9.3
良い	313	46.3
未記入	1	0.1
合計	676	100.0

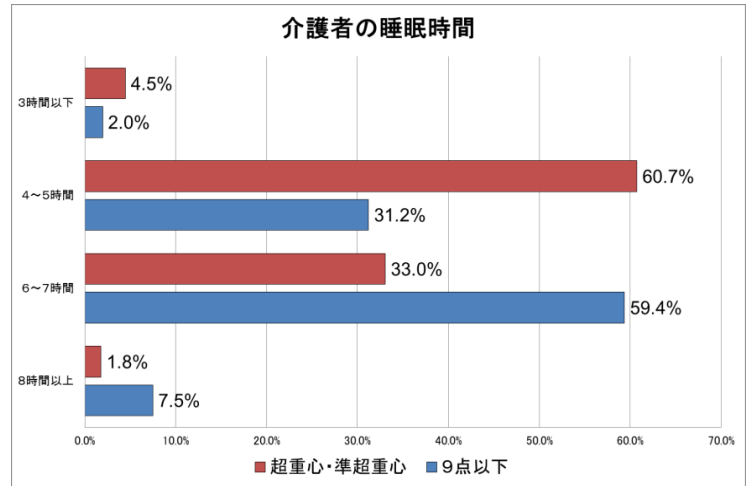


(3) 主たる介護者の睡眠状態

介護者の睡眠時間は、医療依存度が高いほど少なくなっており、超・準超重症児者では、4～5時間が6割を占める。また、睡眠のとり方も医療依存度が高いほど短時間睡眠を繰り返す傾向があり、超・準超重症児者では、7割以上が「短時間睡眠を複数回」と回答した。

■主たる介護者の睡眠状況

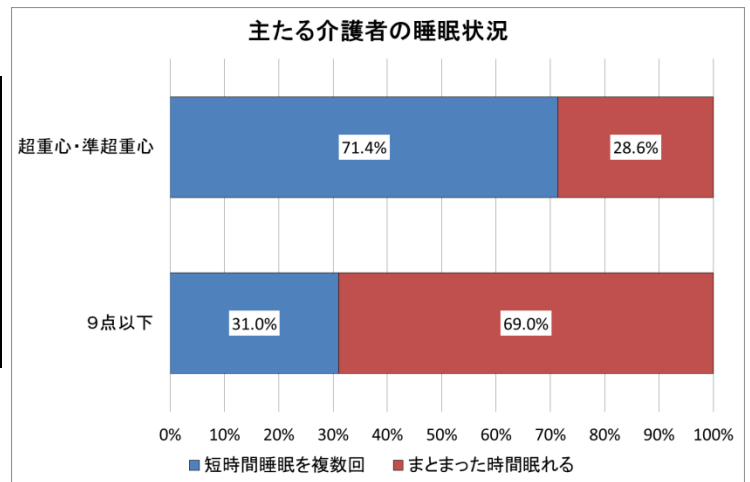
	9点以下 (人)	割合 (%)	超・準超重症児者 (人)	割合 (%)	合計 (人)	割合 (%)
3時間以下	11	2.0%	5	4.5%	16	2.4%
4～5時間	175	31.2%	68	60.7%	243	36.0%
6～7時間	333	59.4%	37	33.0%	370	54.7%
8時間以上	42	7.5%	2	1.8%	44	6.5%
未記入	3	0.4%	0	0%	3	0.4%
合計	564	100.0%	112	100.0%	676	100.0%



■主たる介護者の睡眠の取り方

	9点以下 (人)	割合 (%)	超・準超重症児者 (人)	割合 (%)	合計 (人)	割合 (%)
短時間睡眠を複数回	174	31.0%	80	71.4%	254	37.6%
まとまった時間眠れる	387	69.0%	32	28.6%	419	62.0%
合計	561	100.0%	112	100.0%	673	100.0%

※本表は未記入3人を含んでいない。



(4) 交代できる介護者

交代できる介護者は同居の親が最も多いが、交代できる家族がない方も約3割いる。

■交代できる介護者の有無

	人数	割合(%)
いる	496	73.4
いない	180	26.6
合計	676	100.0

■主たる介護者以外の介護者 (496人中)

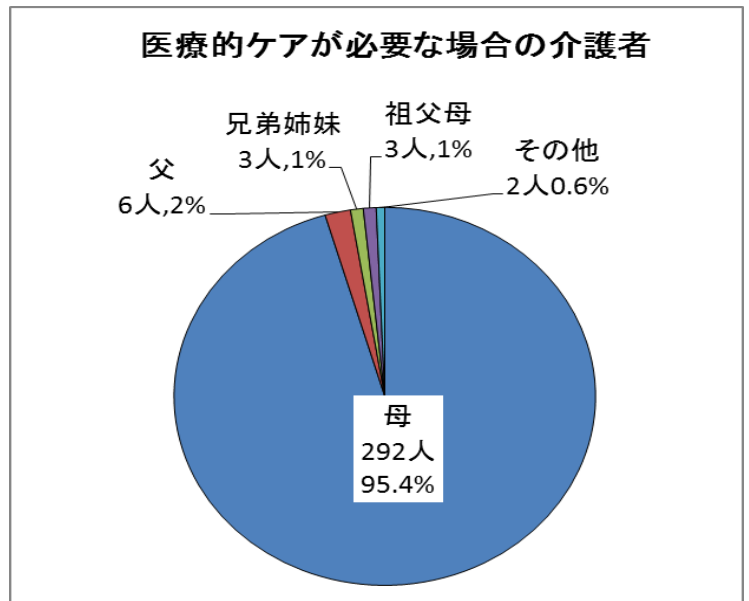
	同居家族		別居家族	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
親	360	72.6	2	0.4
配偶者	5	1.0	-	-
兄弟姉妹	39	7.9	9	1.8
祖父母	29	5.8	46	9.3
その他	6	1.2	-	-

(5) 医療的ケアを行っている介護者

医療的ケアを行っている介護者は、ほとんどが母親であり、交代できる介護者がいない方は約4割となっている。

■医療的ケアが必要な場合の介護者

	人数	割合(%)
母	292	95.4
父	6	2.0
兄弟姉妹	3	1.0
祖父母	3	1.0
その他	2	0.6
合計	306	100.0



■医療的ケアを交代できる介護の有無

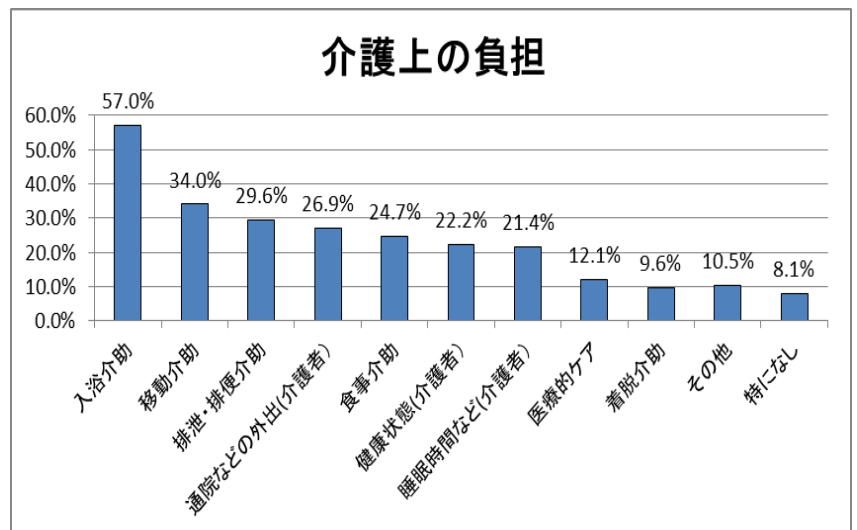
	人数	割合(%)
いる	175	57.2
いない	131	42.8
合計	306	100.0

(6) 介護するうえで負担に感じていること

介護するうえで負担に感じていることは、「入浴介助」「移動介助」「排泄・排便介助」の順に多い。

■介護するうえで負担に感じていること

	人数
入浴介助	385
移動介助	230
排泄・排便介助	200
通院などの外出(介護者)	182
食事介助	167
健康状態(介護者)	150
睡眠時間など(介護者)	145
医療的ケア	82
着脱介助	65
その他	71
特になし	55



(複数回答有)

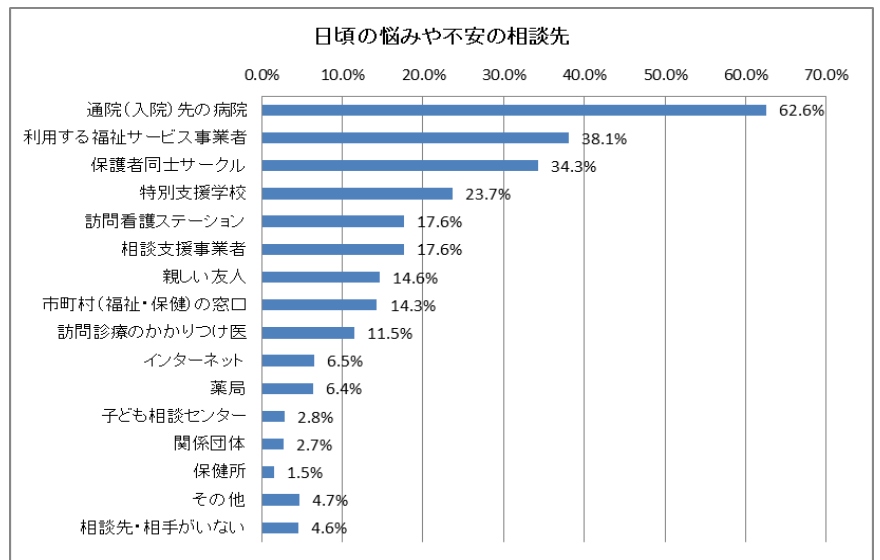
(7) 日ごろ悩みや不安などの相談先及び相談相手

介護者の相談先は通院先の医療機関が最も多いが、保護者同士のサークルも 34.3%を占めている。

■相談先

	人数
通院(入院)先の病院	423
利用する福祉サービス事業者	258
保護者同士サークル	233
特別支援学校	160
訪問看護ステーション	119
相談支援事業者	119
親しい友人	99
市町村(福祉・保健)の窓口	97
訪問診療のかかりつけ医	78
インターネット	44
薬局	43
子ども相談センター	14
関係団体	18
保健所	16
その他	32
相談先・相手がいない	31

(複数回答有)



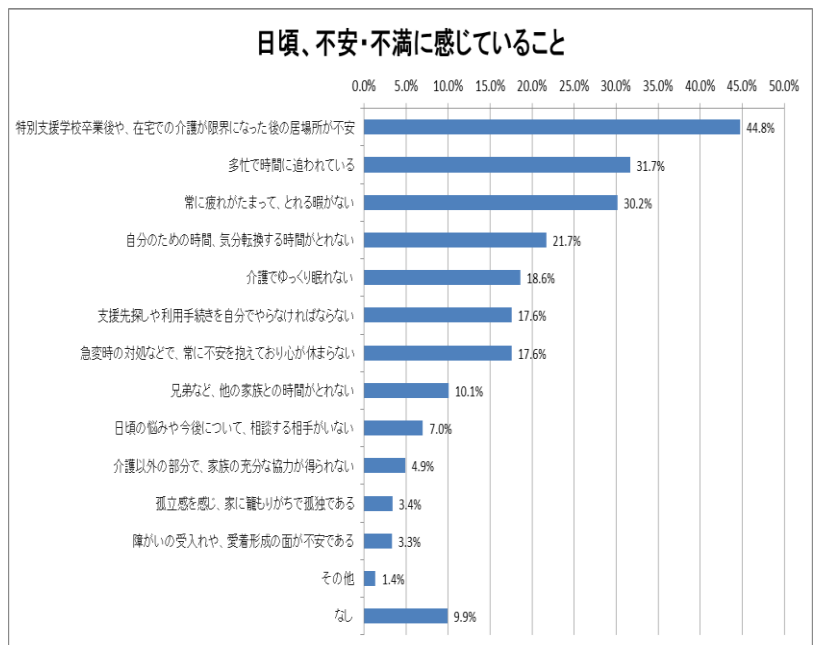
(8) 日頃の不安・不満に感じていること

日頃の不安・不満に感じていることは、「特別支援学校卒業後や介護が限界になった後の居場所が不安」が最も多い。また、介護者の「睡眠時間」や「健康状態」に負担を感じている方や、「ゆっくり眠れない」や「常に疲れがたまって、とれる暇がない」と不安・不満を感じている方も多い。

■日頃の不安・不満

	人数
特別支援学校卒業後や、在宅での介護が限界になった後の居場所が不安	303
常に多忙で時間に追われている	214
常に疲れがたまって、とれる暇がない	204
自分のための時間、気分転換する時間がとれない	147
介護でゆっくり眠れない	126
支援先探しや利用手続きを、自分でやらなければならない	119
急変時の対処などで、常に不安を抱えており心が休まらない	119
兄弟など、他の家族との時間がとれない	68
日頃の悩みや今後について、相談する相手がいない	47
介護以外の部分で、家族の充分な協力が得られない	33
孤立感を感じ、家に籠もりがちで孤独である	23
障がいの受け入れや、愛着形成の面が不安である	22
その他	91
なし	67

(複数回答有)



## V 医療サービスの利用状況

### 1 医療サービスの利用状況

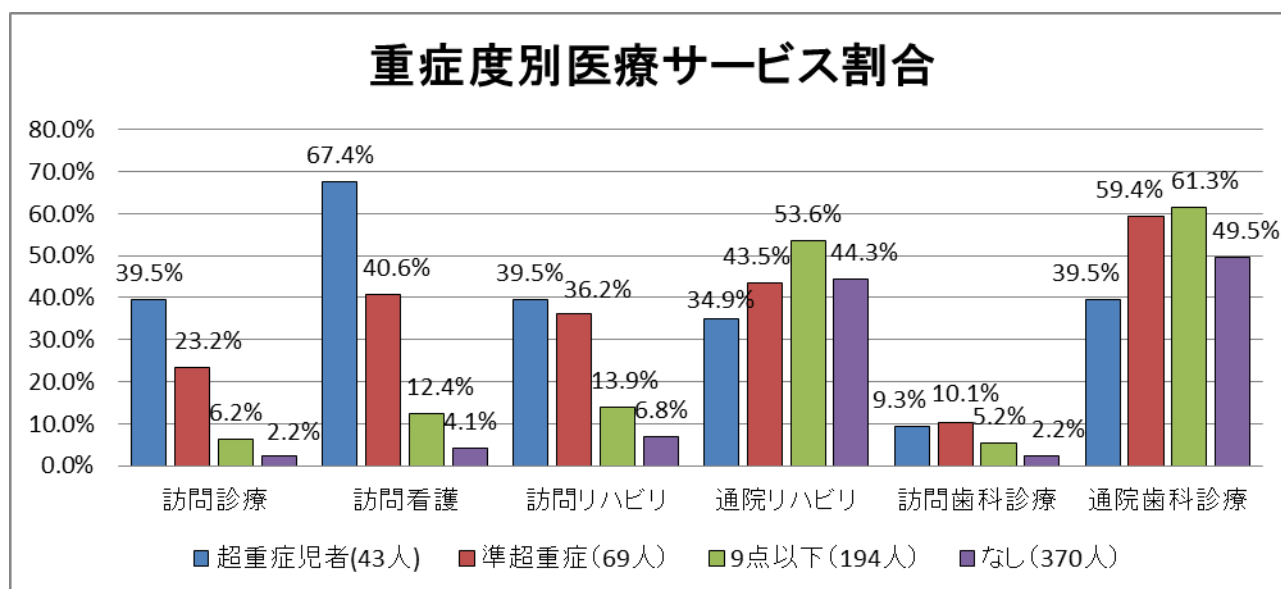
#### (1) 医療サービスの利用状況

医療サービスの利用状況は、通院系サービスの利用が高く、訪問系サービスの利用が少ない。重症度別では、超重症児者の訪問診療、訪問看護の利用が突出して多かった。圏域別では、訪問診療は岐阜市、訪問看護は岐阜圏域・飛騨圏域、訪問リハビリ及び訪問歯科診療は東濃圏域が多い。

#### ■医療サービスの利用状況（実利用人数）

	超重症児者(43人)	準超重症(69人)	9点以下(194人)	なし(370人)	合計(676人)
訪問診療	17	16	12	8	53
割合(%)	39.5	23.2	6.2	2.2	7.8
通院	40	65	174	301	580
割合(%)	93.0	94.2	89.7	81.4	85.8
訪問看護	29	28	24	15	96
割合(%)	67.4	40.6	12.4	4.1	14.2
訪問リハビリ	17	25	27	25	94
割合(%)	39.5	36.2	13.9	6.8	13.9
通院リハビリ	15	30	104	164	313
割合(%)	34.9	43.5	53.6	44.3	46.3
訪問歯科診療	4	7	10	8	29
割合(%)	9.3	10.1	5.2	2.2	4.3
通院歯科診療	17	41	119	183	360
割合(%)	39.5	59.4	61.3	49.5	53.3

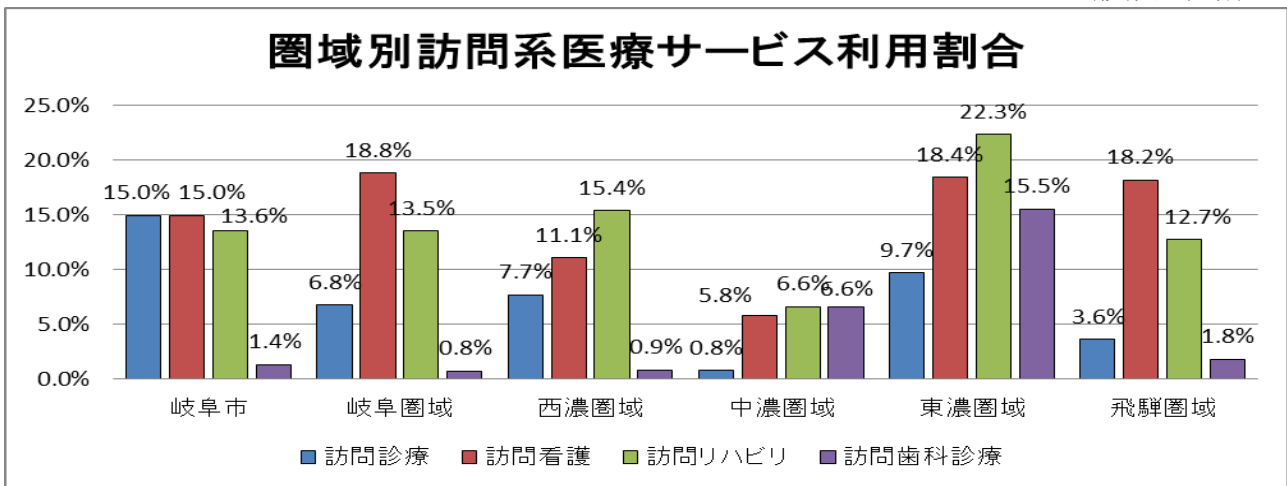
(複数回答有)



■圏域別訪問系医療サービス利用状況（実利用人数）

	岐阜市	岐阜圏域	西濃圏域	中濃圏域	東濃圏域	飛騨圏域	合計
	147人	133人	117人	121人	103人	55人	676人
訪問診療	22	9	9	1	10	2	53
訪問看護	22	25	13	7	19	10	96
訪問リハビリ	20	18	18	8	23	7	94
訪問歯科診療	2	1	1	8	16	1	29

（複数回答有）



（2） 通院状況

ほとんどの方はいずれかの医療機関に通院している。通院していない方は18歳以上に多い。通院先の医療機関は2ヶ所以上通院している方も多くいる。

通院先は岐阜県総合医療センターが多く、次いで愛知県コロニー、長良医療センターの順になっている。

■通院状況

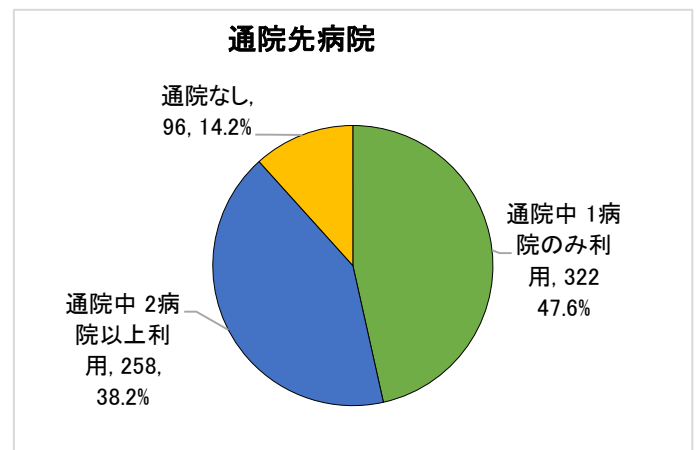
（人）

	全体	超重症	準超重症	9点以下	なし
通院している	580	40	65	174	301
通院していない・無回答含む	96	3	4	20	69
計	676	43	69	194	370

■通院先の病院

（人）

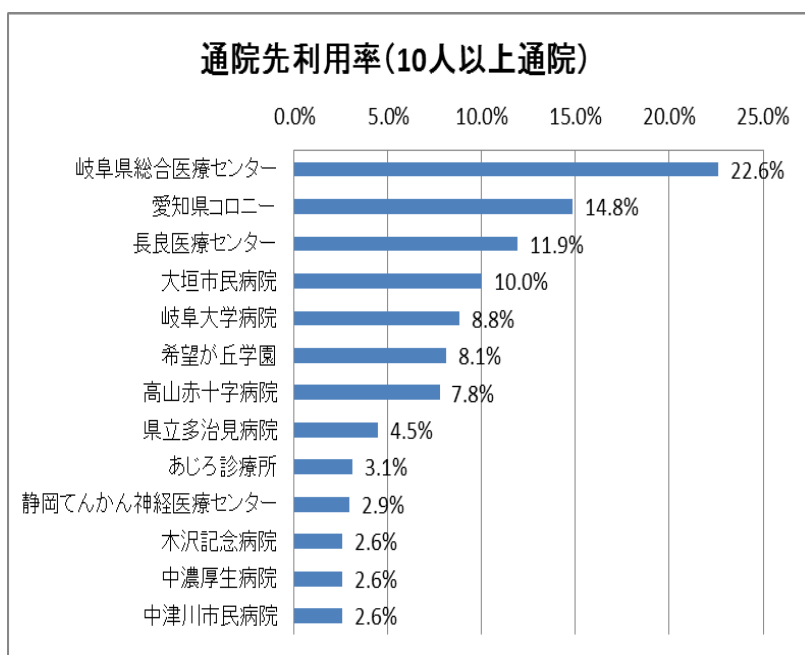
通院中		通院なし	合計
1病院のみ利用	2病院以上利用		
322	258	96	676



■通院先延べ数合計・高位順

順位	病院名	人数
1	岐阜県総合医療センター	131
2	愛知県 कोरोニー	86
3	長良医療センター	69
4	大垣市民病院	58
5	岐阜大学病院	51
6	希望が丘学園	47
7	高山赤十字病院	45
8	県立多治見病院	26
9	あじろ診療所	18
10	静岡てんかん神経医療センター	17
11	木沢記念病院	15
11	中濃厚生病院	15
11	中津川市民病院	15

(複数回答有)



(3) 通院先診療科

通院先診療科は小児科が最も多く、次いで整形外科、内科である。

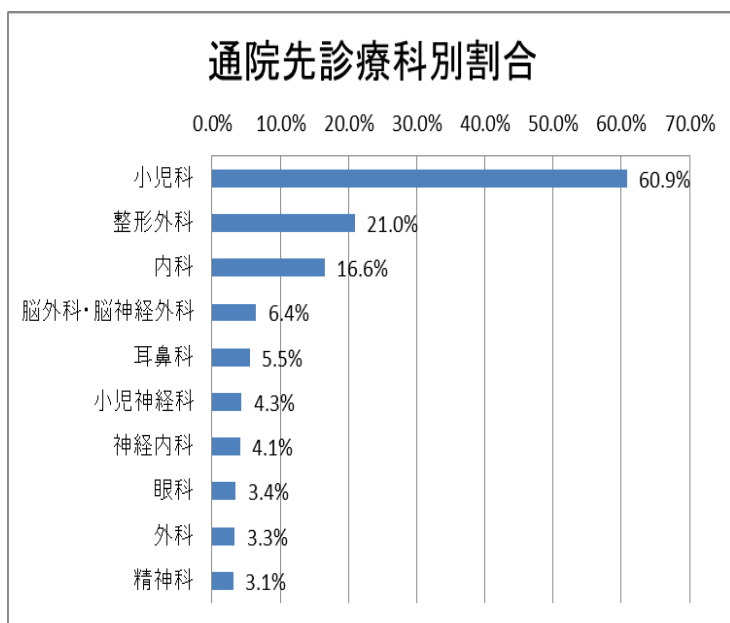
年齢別では 20 歳以上になっても小児科を受診しており、重症度の高い方が幼少期から継続して利用しているケースが多い。

整形外科は 10 代が最も多く、年齢が高くなるにつれて減っている。内科は 30 代が多い。

■通院先診療科 (上位 10 位)

		計	割合 (%) (580 人中)
1	小児科	353	60.9
2	整形外科	122	21.0
3	内科	96	16.6
4	脳外科・脳神経外科	37	6.4
5	耳鼻科	32	5.5
6	小児神経科	25	4.3
6	神経内科	24	4.1
8	眼科	20	3.4
9	外科	19	3.3
10	精神科	18	3.1

(複数回答有)

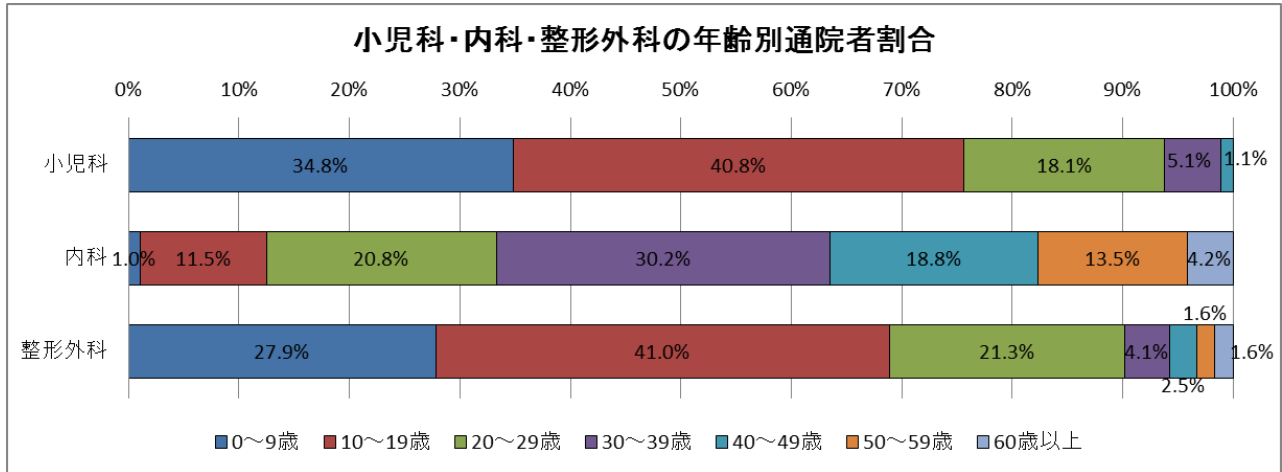




■小児科・内科・整形外科年齢別通院者数

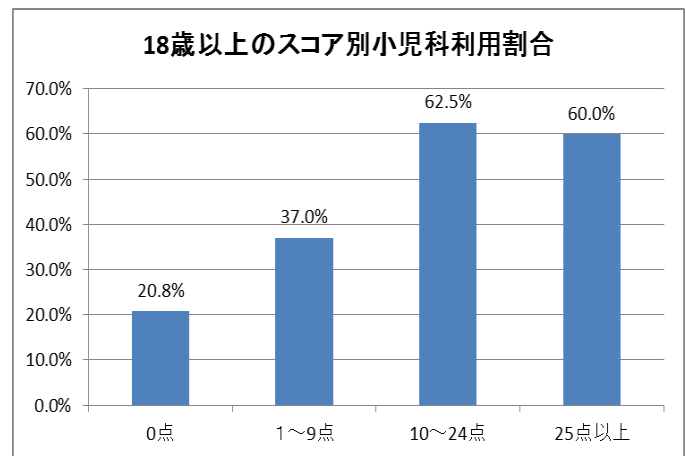
(人)

	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計
小児科	123	144	64	18	4	0	0	353
内科	1	11	20	29	18	13	4	96
整形外科	34	50	26	5	3	2	2	122



■18歳以上の医療スコア別小児科利用状況

	重症心身障がい児者(18歳以上)(人)	小児科を利用して いる18歳以上(人)	割合(%)
0点	221	46	20.8
1～9点	100	37	37.0
10～24点	32	20	62.5
25点以上	15	9	60.0
計	368	112	30.4



(4) 入院先

過去1年間に入院経験のある方はのべ154人であった。入院先の医療機関は岐阜県総合医療センター、長良医療センター、県立多治見病院の順に多い。入院した診療科は小児科が最も多い。

小児科については、通院の状況と同様に18歳以上の方も小児科で入院しており、約3割を占める。

■入院先医療機関 (人)

岐阜県総合医療センター	40
長良医療センター	16
県立多治見病院	13
大垣市民病院	11
岐阜大学医学部付属病院	10
高山赤十字病院	10
中津川市民病院	4
岐阜市民病院	3
中濃厚生病院	3
恵那病院	3
その他県内	7
愛知県コロニー	11
愛知県(コロニーを除く)	8
静岡てんかん神経医療センター	7
その他県外	8
合計	154

(複数回答有)

■入院先診療科名 (人)

小児科	97
内科	9
外科	9
整形外科	8
脳外科	5
小児神経科	4
耳鼻科	2
小児循環器科	2
小児外科	2
てんかん科	2
泌尿器科	2
精神科	2
眼科	2
その他	4

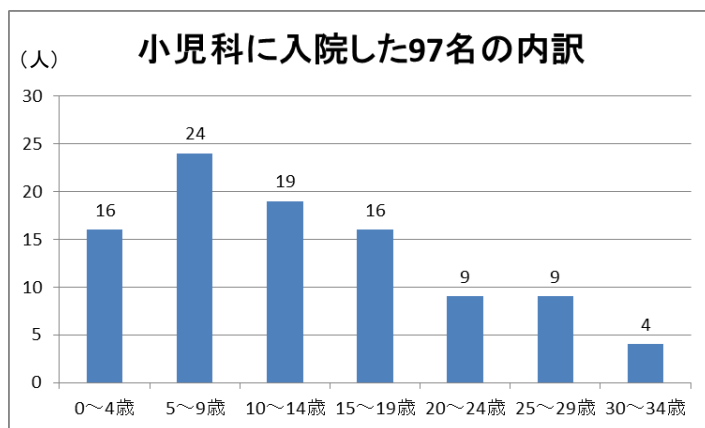
(複数回答有)

■小児科に入院した97名の年齢階級別内訳

年齢	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	計
人数	16	24	19	16	9	9	4	97

■小児科に入院した18歳以上の方(27名)の医療スコア別内訳

	入院者数
0点	3
9点以下	8
10～24点	11
25点以上	5



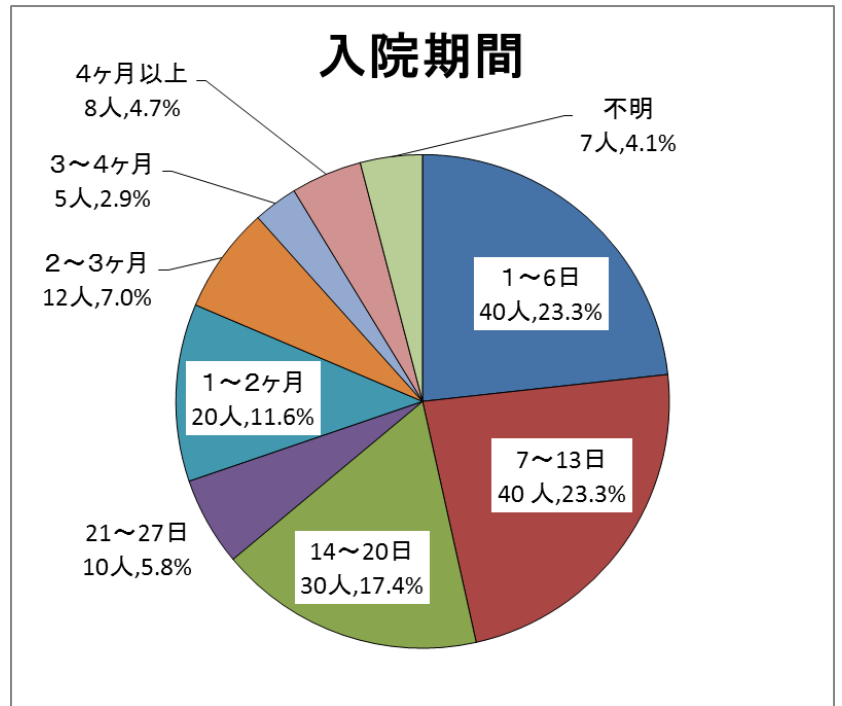
(5) 入院期間

入院期間は2週間以内がほぼ半数を占めるが、1ヶ月以上の長期入院をする方も約3割程度いる。

■入院期間

入院期間	人数
1～6日	40
7～13日	40
14～20日	30
21～27日	10
1～2ヶ月	20
2～3ヶ月	12
3～4ヶ月	5
4ヶ月以上	8
不明	7
合計	172

※172人は同医療機関で複数回入院している数を含めた数字



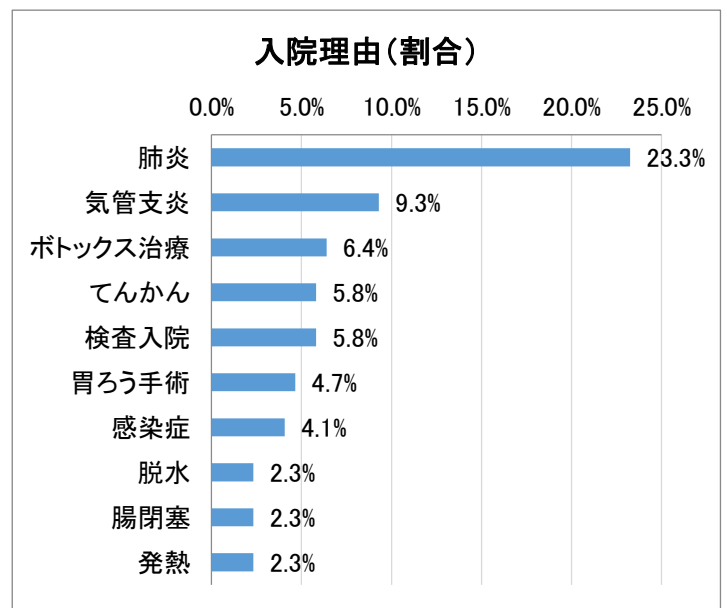
(6) 入院理由

入院理由は肺炎が最も多く40人(23.3%)、次いで気管支炎が16人(9.3%)と多いが、入院理由にはバラつきが見られる。

■入院理由 (上位8位)

	入院理由	人数
1位	肺炎	40
2位	気管支炎	16
3位	ボトックス治療	11
4位	てんかん	10
4位	検査入院	10
6位	胃ろう手術	8
7位	感染症	7
8位	脱水	4
8位	腸閉塞	4
8位	発熱	4

(複数回答有)

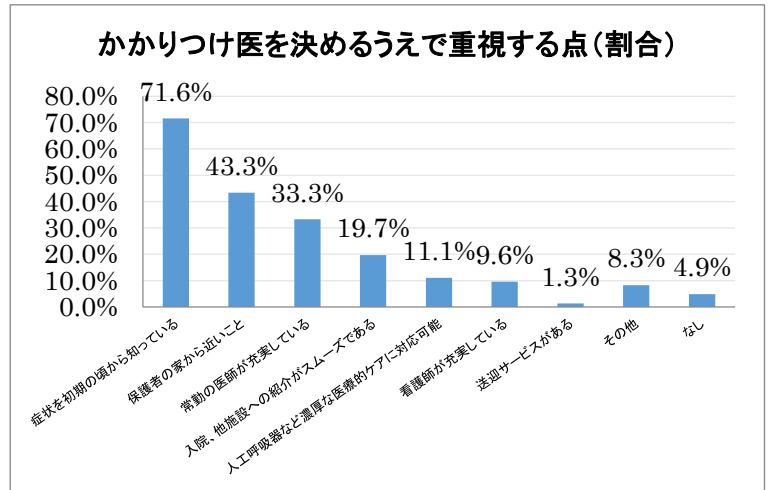


(7) かかりつけ医を決めるうえでの重視する点

■かかりつけ医を決めるうえで重視する点

	人数
症状を初期の頃から知っている	484
保護者の家から近いこと	293
常勤の医師が充実している	225
入院、他施設への紹介がスムーズである	133
人工呼吸器など濃厚な医療的ケアに対応可能	75
看護師が充実している	65
送迎サービスがある	9
その他	56
なし	33

(複数回答有)

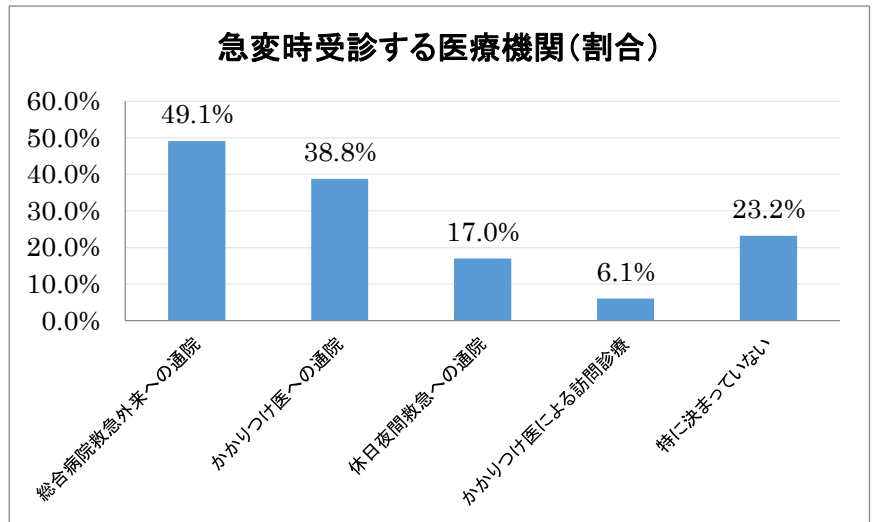


(8) 診療時間外の急変時、受診する医療機関について

■診療時間外の急変時、受診する医療機関

	人数
総合病院救急外来への通院	332
かかりつけ医への通院	262
休日夜間救急への通院	115
かかりつけ医による訪問診療	41
特に決まっていない	157

(複数回答有)

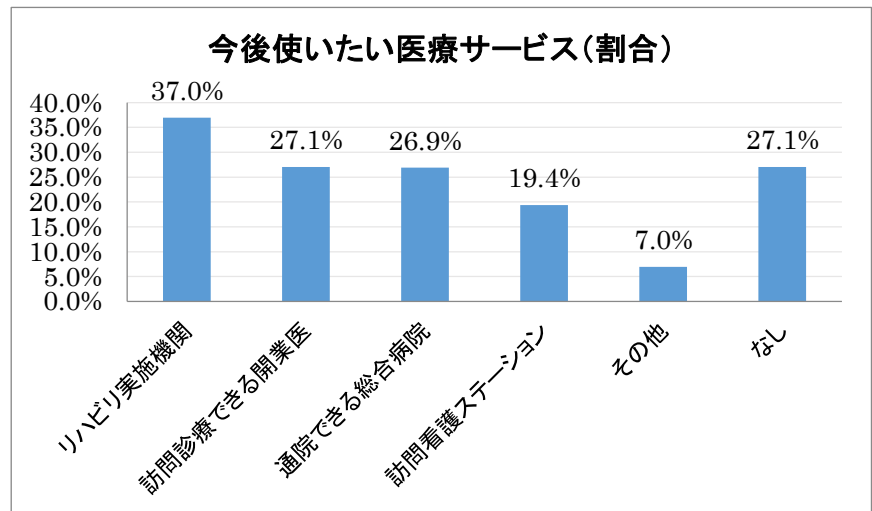


(9) 今後使いたい医療サービス

■今後使いたい医療サービス

	人数
リハビリ実施機関	250
訪問診療できる開業医	183
通院できる総合病院	182
訪問看護ステーション	131
その他	47
なし	183

(複数回答有)



## VI 福祉サービスの利用状況

### 1 福祉サービスの利用状況

#### (1) 福祉サービスの利用状況

18歳未満では、超重症児は、レスパイト系サービスを半数以上が利用している。また、日中活動サービスは重症度に関わらず少ないが、18歳未満を対象としたサービスは重症度が軽くなるに従い多くなっている。

また、圏域別にみると岐阜市はレスパイトサービスの利用が多く、西濃圏域は日中活動サービスの利用が多い。

■重症度別福祉サービス利用状況（実利用人数）

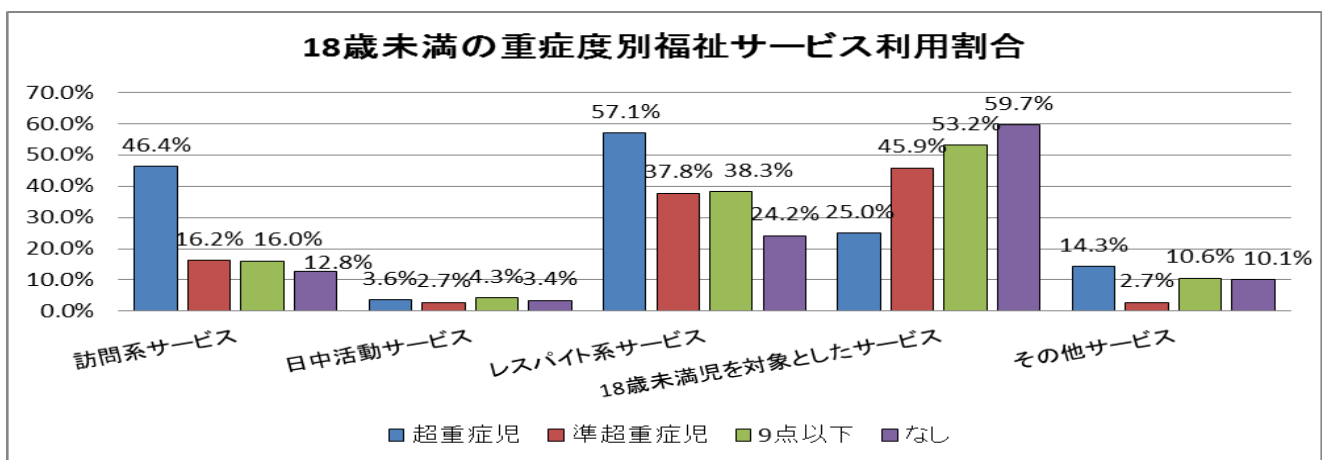
	超重症児者			準超重症児者			9点以下			なし			合計 (676人)
	18歳未満 (28人)	18歳以上 (15人)	小計 (43人)	18歳未満 (37人)	18歳以上 (32人)	小計 (69人)	18歳未満 (94人)	18歳以上 (100人)	小計 (194人)	18歳未満 (149人)	18歳以上 (221人)	小計 (370人)	
訪問系サービス	13	5	18	6	15	21	15	28	43	19	37	56	138
割合(%)	46.4	33.3	41.9	16.2	46.9	30.4	16.0	28.0	22.2	12.8	16.7	15.1	20.4
日中活動サービス	1	8	9	1	18	19	4	78	82	5	151	156	266
割合(%)	3.6	53.3	20.9	2.7	56.3	27.5	4.3	78.0	42.3	3.4	68.3	42.2	39.3
レスパイト系サービス	16	8	24	14	18	32	36	49	85	36	101	137	278
割合(%)	57.1	53.3	55.8	37.8	56.3	46.4	38.3	49.0	43.8	24.2	45.7	37.0	41.1
18歳未満児を対象としたサービス	7	-	7	17	-	17	50	-	50	89	-	89	163
割合(%)	25.0	-	16.3	45.9	-	24.6	53.2	-	25.8	59.7	-	24.1	24.1
その他サービス	4	2	6	1	8	9	10	18	28	15	29	44	87
割合(%)	14.3	13.3	14.0	2.7	25.0	13.0	10.6	18.0	14.4	10.1	13.1	11.9	12.9

○訪問系サービス・・・居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護等 (複数回答有)

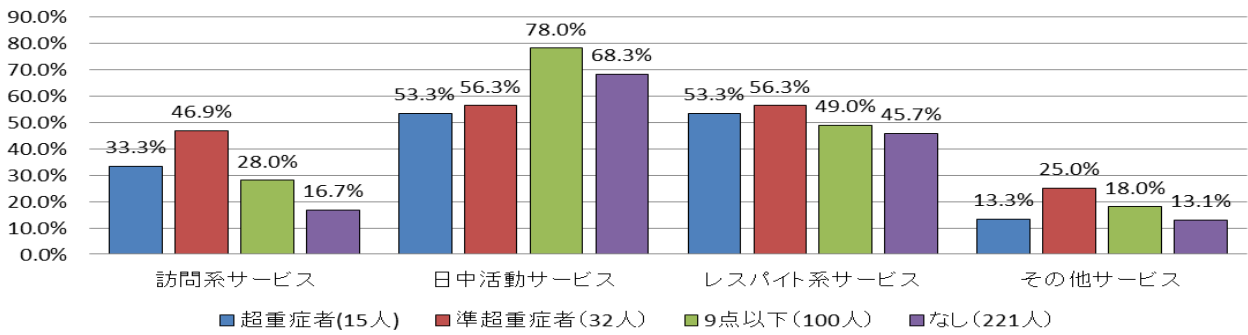
○日中系サービス・・・生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援等

○レスパイト系サービス・・・短期入所、日中一時支援事業等

○18歳未満児を対象としたサービス・・・児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業等



### 18歳以上の重症度別福祉サービス利用割合

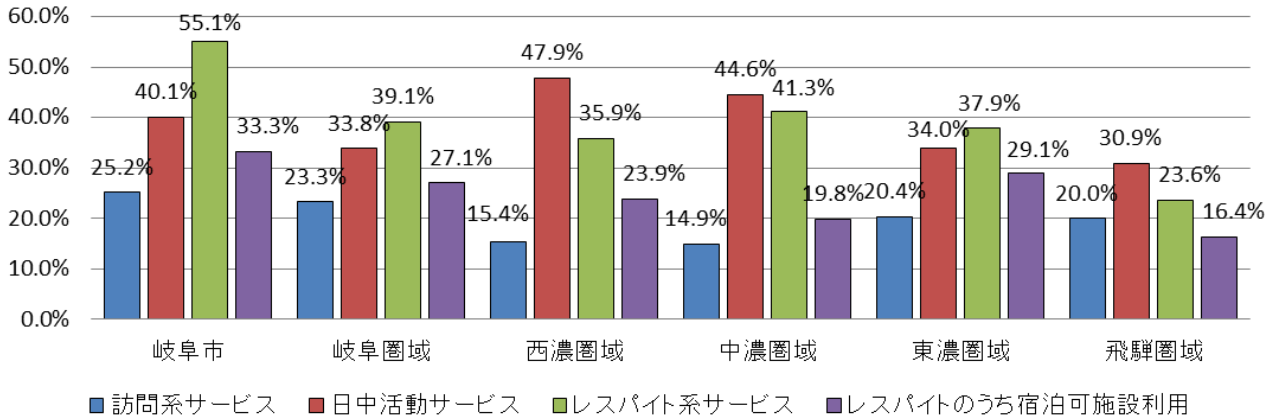


### ■圏域別福祉サービス利用状況（実利用人数）

	岐阜市	岐阜圏域	西濃圏域	中濃圏域	東濃圏域	飛騨圏域	全体
	147人	133人	117人	121人	103人	55人	676人
訪問系サービス	37	31	18	18	21	11	138
日中活動サービス	59	45	56	54	35	17	266
レスパイト系サービス	81	52	42	50	39	13	278
<うち宿泊可施設利用>	(49)	(36)	(28)	(24)	(30)	(9)	(176)

(複数回答有)

### 圏域別福祉サービス利用割合

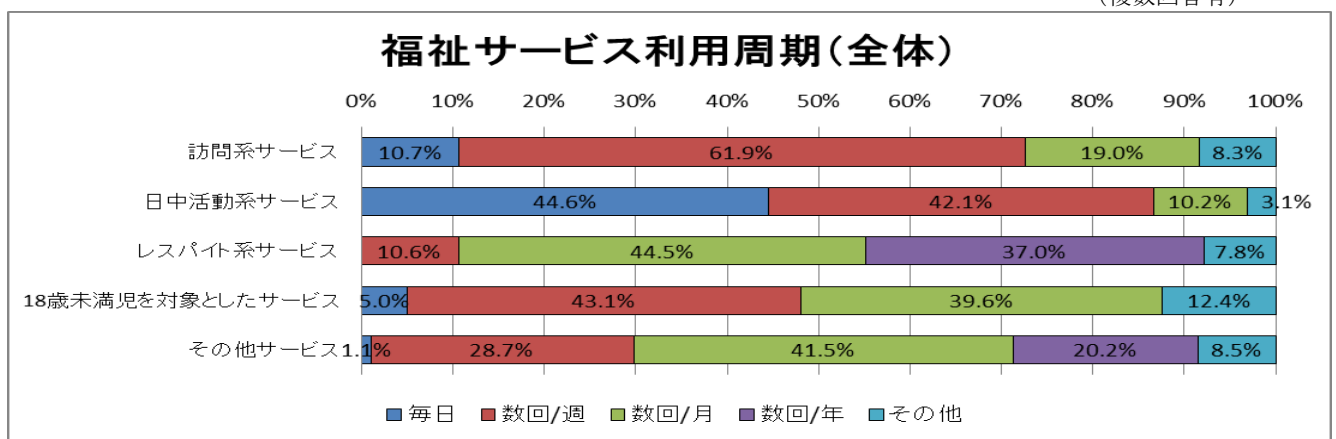


福祉サービスの利用周期は週に数回が最も多い。18歳以上の日中活動系サービス利用者は毎日利用が143人(44.3%)と多い。レスパイト系サービスは月に数回、年に数回の利用者が約8割となった。

■福祉サービス利用周期（延べ利用人数）

	18歳未満(306人)						18歳以上(368人)						合計					
	毎日	数回/週	数回/月	数回/年	その他	小計	毎日	数回/週	数回/月	数回/年	その他	小計	毎日	数回/週	数回/月	数回/年	その他	小計
訪問系サービス	1	43	12	0	8	64	17	61	20	0	6	104	18	104	32	0	14	168
日中活動系サービス	1	2	7	0	3	13	143	134	26	0	7	310	144	136	33	0	10	323
レスパイト系サービス	0	19	60	42	10	131	0	19	99	90	18	226	0	38	159	132	28	357
18歳未満児を対象としたサービス	10	87	80	0	25	202	—	—	—	—	—	—	10	87	80	0	25	202
その他サービス	0	13	11	4	3	31	1	14	28	15	5	63	1	27	39	19	8	94

(複数回答有)



※訪問系サービス、日中活動系サービス、18歳未満児を対象としたサービスは「数回/年」は0人 (複数回答有)

※レスパイト系サービスは「毎日」は0人

福祉サービスの利用周期を重症度別に見ると、どのサービスも週に数回、月に数回の利用が多い。

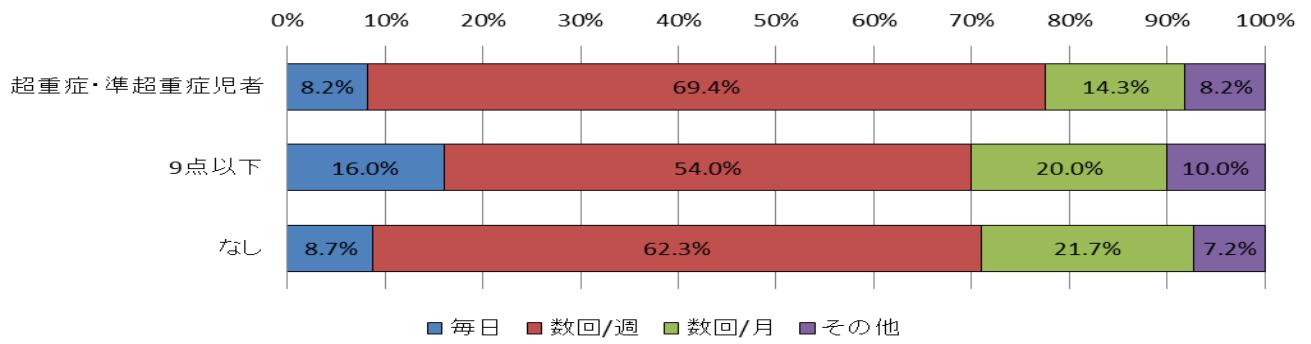
レスパイトサービスは、医療依存度の高い超・準超重症児者の週に数回の利用が多く、日中活動系サービスは医療依存度が低くなるにつれて、利用周期が短くなっている。

■重症度別福祉サービス利用周期（延べ利用人数）

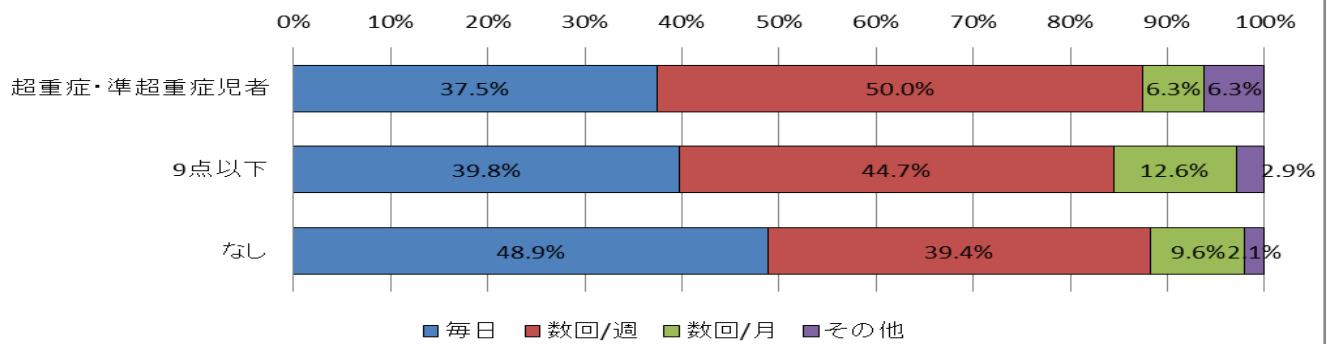
	超重症・準超重症児者(112人)						9点以下(194人)						なし(370人)						合計
	毎日	数回/週	数回/月	数回/年	その他	小計	毎日	数回/週	数回/月	数回/年	その他	小計	毎日	数回/週	数回/月	数回/年	その他	小計	
訪問系サービス	4	34	7	0	4	49	8	27	10	0	5	50	6	43	15	0	5	69	168
日中活動系サービス	12	16	2	0	2	32	41	46	13	0	3	103	92	74	18	0	4	188	323
レスパイト系サービス	0	11	26	34	4	74	0	5	59	44	8	116	0	22	74	54	16	166	356
18歳未満児を対象としたサービス	0	11	12	0	5	28	2	25	25	0	10	62	8	51	43	0	10	112	202
その他サービス	0	6	5	6	1	18	0	11	12	2	4	29	1	10	22	11	3	47	94

(複数回答有)

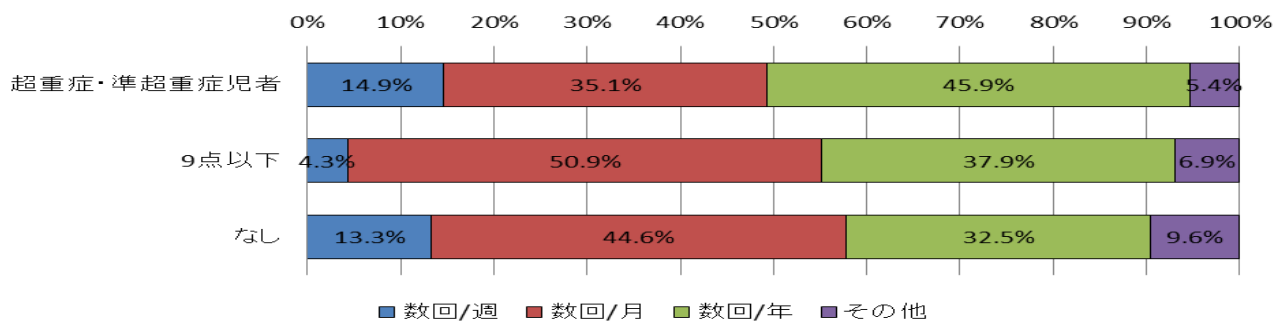
### 重症度別・訪問系サービス利用周期



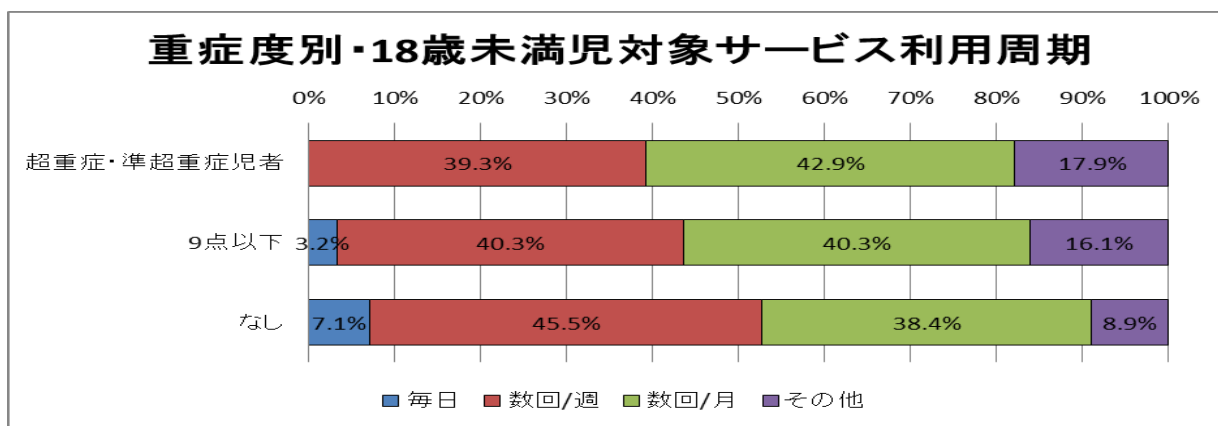
### 重症度別・日中活動系サービス利用周期



### 重症度別・レスパイト系サービス利用周期







※超重症・準超重症児者は「毎日」は0人

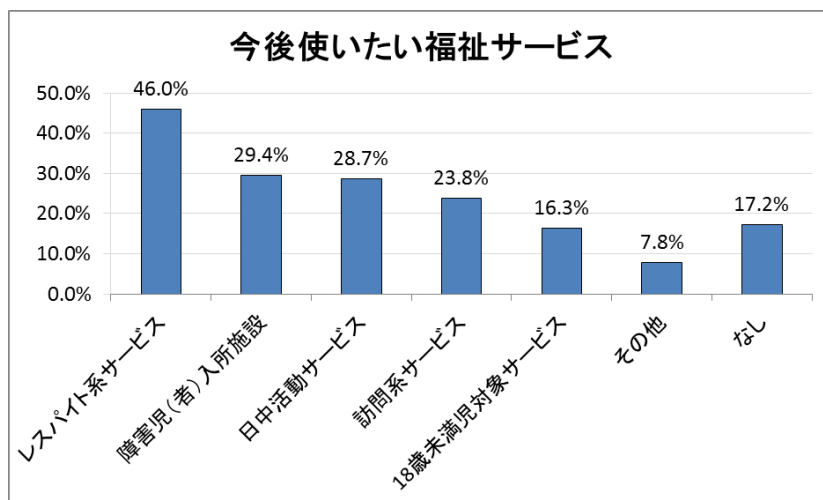
(2) 今後使いたい福祉サービス

今後使いたい福祉サービスでは、レスパイト系サービスが最も多い。

■今後使いたい福祉サービス

	人数
レスパイト系サービス	311
障害児(者)入所施設	199
日中活動サービス	194
訪問系サービス	161
18歳未満児対象サービス	110
その他	53
なし	116

(複数回答有)



## Ⅶ 重症心身障がい児者等入所施設について

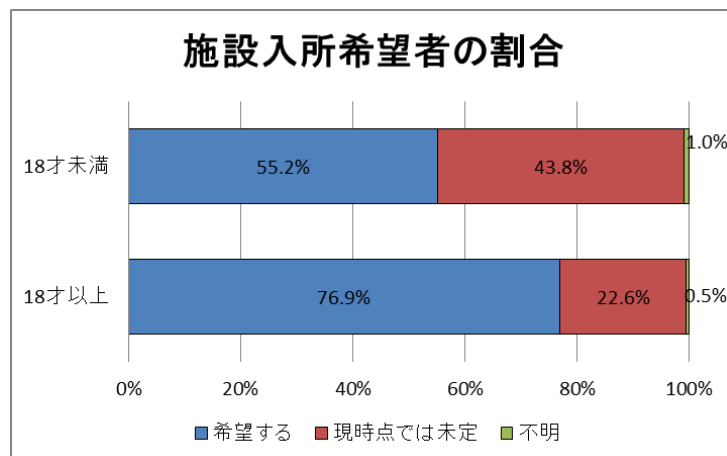
### 1 重症心身障がい児者等入所施設について

#### (1) 重症心身障がい児者等入所施設の入所希望の有無

障がい児者施設の入所を希望している方が 453 人 (67.0%) と多く、中でも 18 歳以上では約 8 割の方が希望している。

##### ■障がい児者施設入所希望

	18 歳未満		18 歳以上	
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
希望する	170	55.2	283	76.9
現時点では未定	135	43.8	83	22.6
不明	3	1.0	2	0.5
合計	308	100.0	368	100.0

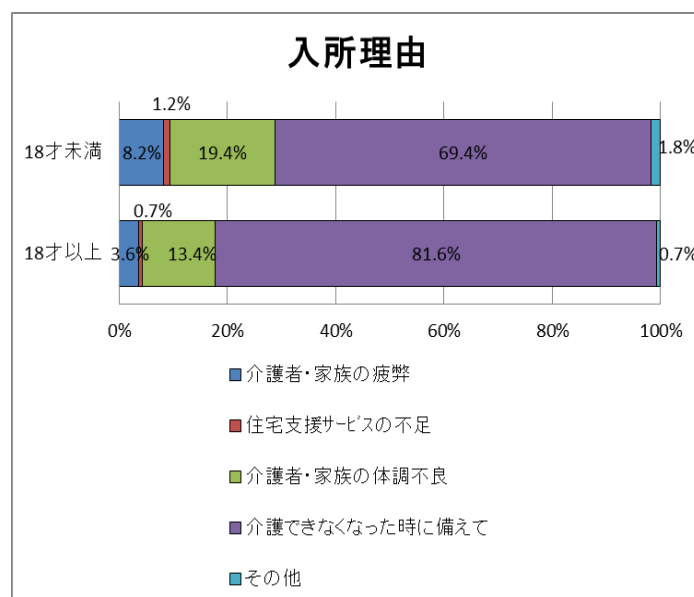


#### (2) 入所の理由・時期

入所理由、入所時期は、「介護できなくなった時に備えて」が最も多い。

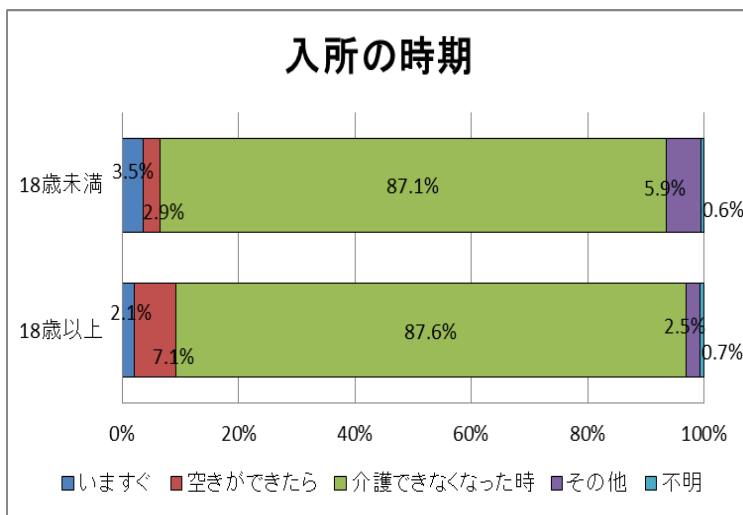
##### ■希望する理由

	18 歳未満		18 歳以上	
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
介護者・家族の疲弊	14	8.2	10	3.6
住宅支援サービスの不足	2	1.2	2	0.7
介護者・家族の体調不良	33	19.4	38	13.4
介護できなくなった時に備えて	118	69.4	231	81.6
その他	3	1.8	2	0.7
合計	170	100.0	283	100.0



■入所時期

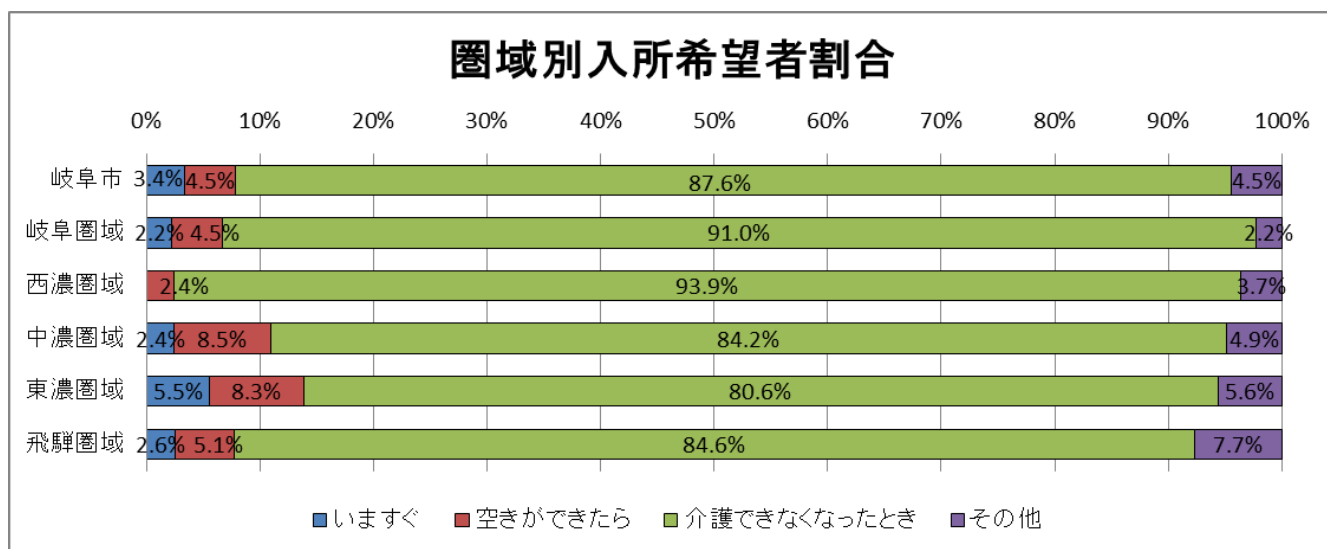
	18歳未満		18歳以上	
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
いますぐ	6	3.5	6	2.1
空気ができたら	5	2.9	20	7.1
介護できなくなった時	148	87.1	248	87.6
その他	10	5.9	7	2.5
不明	1	0.6	2	0.7
合計	170	100.0	283	100.0



■圏域別入所希望時期

	岐阜市 147人	岐阜 133人	西濃 117人	中濃 121人	東濃 103人	飛騨 55人	計 676人
いますぐ	3 (3.4)	2 (2.2)	0 (0)	2 (2.4)	4 (5.5)	1 (2.6)	12 (2.6)
空気ができたら	4 (4.5)	4 (4.5)	2 (2.4)	7 (8.5)	6 (8.3)	2 (5.1)	25 (5.6)
介護できなくなったとき	78 (87.6)	81 (91.0)	77 (93.9)	69 (84.2)	58 (80.6)	33 (84.6)	396 (87.4)
その他	4 (4.5)	2 (2.2)	3 (3.7)	4 (4.9)	4 (5.6)	3 (7.7)	20 (4.4)
合計	89	89	82	82	72	39	453
入所希望者割合 (676人)	60.5%	66.9%	70.1%	67.8%	69.9%	70.9%	67.0

※( )内は割合



※西濃圏域は「いますぐ」は0人

■入所希望「その他」の内容

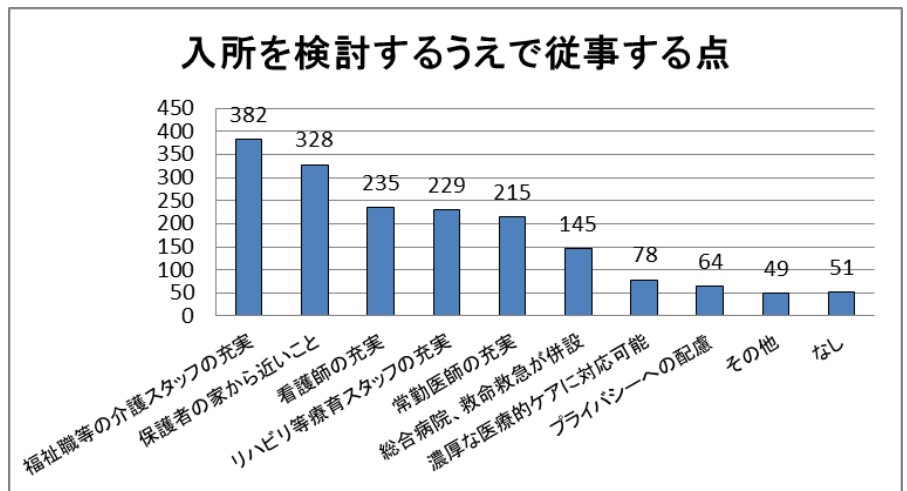
- ・安心して預けられる場所が近くにできたら早くに
- ・児が大きくなったら、ある程度は離れて暮らしたい
- ・本人が慣れるのに時間が必要なので、できるだけ早く
- ・高等部卒業後に考える
- ・高校を卒業したら
- ・本人の希望があった場合
- ・グループホーム利用を望んでいますが出来なければ入所しかないとき
- ・家から近いところがあったら早めに入所したい
- ・グループホームでの生活が出来なくなったとき
- ・在宅の安定が図れなくなったら
- ・できるだけ家族とかかわりながら自立支援をうけていきたいと思っている

(3) 入所を検討する際の重視する点

■入所を検討するうえで重視する点

	人数
福祉職等の介護スタッフの充実	382
保護者の家から近いこと	328
看護師の充実	235
リハビリ等療育スタッフの充実	229
常勤医師の充実	215
総合病院、救命救急が併設	145
濃厚な医療的ケアに対応可能	78
プライバシーへの配慮	64
その他	49
なし	51

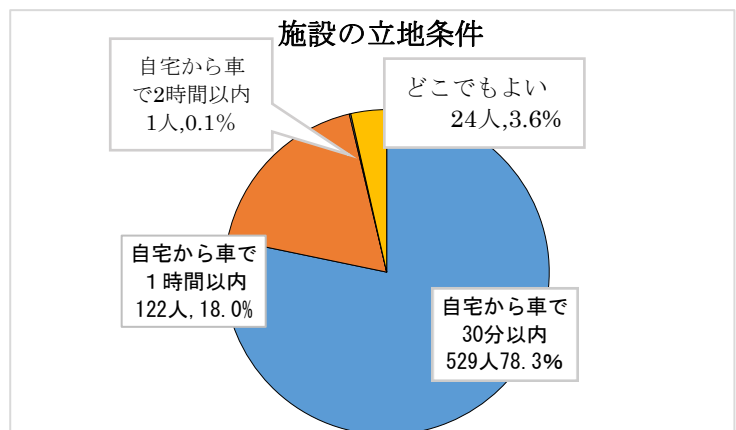
(複数回答有)



(4) 新たな施設整備の立地条件について

■施設整備の立地条件

	人数	割合
自宅から車で30分以内	529	78.3
自宅から車で1時間以内	122	18.0
自宅から車で2時間以内	1	0.1
どこでもよい	24	3.6
合計	676	100



提出期限	平成26年 月 日 ( )
提出先	岐阜県健康福祉部地域医療推進課 障がい児者医療推進係

整理番号
------

この調査は、統計法に基づく届出統計調査です。

☆この調査により報告された記入内容は統計法により秘密が保護されます。この調査票は、統計以外の目的に使用することは絶対にありません。

## 在宅障がい児者等実態調査 調査票

調査票記入日	平成 年 月 日
回答者の続柄 (ご本人から見て)	母 ・ 父 ・ 配偶者 ・ 姉 ・ 兄 ・ 妹 ・ 弟 ・ 娘 ・ 息子 ・ 祖母 ・ 祖父 ・ その他 ( )

### I ご本人(在宅で生活する障がい児者等)について

1 ご本人の氏名・住所について(封書の送付情報に訂正がある際にご記入ください)

氏名	訂正なし(右欄に○)		訂正あり	⇒訂正情報:
住所	訂正なし(右欄に○)		訂正あり	⇒訂正情報:

※個人情報への配慮のため訂正が無い場合は○印のみで結構です(整理番号で照合・管理します)

2 在宅障がい児者等ご本人の性別・生年月日・年齢、及び回答者様の連絡先電話番号について

性別	男 ・ 女	生年月日	昭和・平成 年 月 日
回答者電話番号	— —	年齢	歳(7/1時点)

※調査票返送後に、内容確認等のため、調査員からご連絡させていただくことがあります。  
ご記入いただいた電話番号は、その際の連絡先として使用させていただきます。

3 在宅障がい児者等ご本人の生活拠点について(該当に○)

①在宅で生活		
②施設入所または長期入院中		⇒入所・入院施設の名称:
③その他		⇒その他の内容:

※「3 在宅障がい児者等ご本人の生活拠点について」についての回答が、「①在宅で生活」に○の場合は、引き続き調査票のご記入をお願いいたします。

※「②施設入所または長期入院中」「③その他」に○の場合は、調査票の記入は終了です。  
返信用封筒を使用いただき、ご郵送いただきますようお願いいたします。  
ご多忙のところ調査にご協力いただき、誠に有難うございました。

4 在宅障がい児者等ご本人の就学状況について（該当に○）

※ご本人が現在就学中の場合のみお答えください。それ以外は次に進んでください。

①通常学級		
②特別支援学級		
③特別支援学校		

5 手帳の取得状況と障がいの程度について（該当に○）

身体障害者手帳の状況	1級・2級	障がい名	下肢・体幹・移動機能 その他( )
療育手帳の状況	A・A1・A2・なし		
障害支援(程度)区分(18歳以上)	1・2・3・4・5・6		
児童区分(18歳未満)	1・2・3・なし		

※「児童区分」は短期入所を利用する場合に、市町村が認定する区分を指します（18歳未満で短期入所の利用が無い場合などは、「なし」に○を付してください）

6 各種手当等の受給について

特別児童扶養手当、児童扶養手当、障害基礎年金、特別障害者手当、障害児福祉手当などの受給（児童手当を除く）	<input type="checkbox"/> 何らかの手当てを受給されている <input type="checkbox"/> 何も受給されていない
--	---

7 ご本人の状況等について（該当すると思われるものに○を付してください）

<input type="checkbox"/>	重度の知的障がいと重度の肢体不自由が重複した重症心身障がい
<input type="checkbox"/>	遷延性意識障がい
<input type="checkbox"/>	知的障がいを伴わない筋萎縮性側索硬化症（ALS）、筋ジス等の難病、脳性まひなど
<input type="checkbox"/>	その他 ⇒（記入欄：_____）

8 ご本人が生まれた時に NICU に入院しましたか。（入院した・入院していない）

医療機関名	妊娠期間	週
NICU（新生児集中治療室）に入院していた期間		か月 日
NICU を退院した時点		歳 か月
GCU（新生児回復室）や小児科病床等を経て最終的に退院した時点		歳 か月

9 ご本人に対するケアの状況等について（該当すると思われるものに○を付してください）  
 ※医療的ケアの項目(1)～(14)への当てはめが困難な場合は【自由記入欄】をご利用ください。

診断名		
既往歴（合併症）		
医療的ケア	(1) ( ) レスプレーター（人工呼吸器）管理	=10
該当する 医療的ケア の欄に○を 付して ください	(2) ( ) 気管内挿管、気管切開	=8
	(3) ( ) 鼻咽頭エアウェイ	=5
	(4) ( ) O <sub>2</sub> 吸入または SaO <sub>2</sub> (SpO <sub>2</sub> ) 90%以下の状態が 10%以上	=5
	(5) ( ) 1回/時間以上の頻回の吸引	=8
	( ) 6回/日以上での頻回の吸引	=3
	(6) ( ) ネブライザー（吸入器）6回/日以上または継続使用	=3
	(7) ( ) IVH（中心静脈栄養）	=10
	(8) ( ) 経口摂取（全介助）	=3
	( ) 経管（経鼻、胃ろうを含む）	=5
	(9) ( ) 腸ろう・腸管栄養	=8
	( ) 持続注入ポンプ使用（腸ろう・腸管栄養時）	=3
	(10) ( ) 手術・服薬にても改善しない過緊張で、発汗による 更衣と姿勢修正を 3回/日以上	=3
	(11) ( ) 継続する透析（腹膜灌流を含む）	=10
	(12) ( ) 定期導尿（3回/日以上）	=5
(13) ( ) 人工肛門	=5	
(14) ( ) 体位交換 6回/日以上	=3	
右のスコア (1)～(14)に○ を付することが困 難な場合は、現 在行っている医 療的ケアの内容 を、 【自由記入欄】 に箇条書き等で 記載してくださ い	【自由記入欄】	
調査員	判定スコア（1）～（14）の合計点	点
整理欄	合計点が 10 点以上 25 点未満 ( )	
(回答不要)	合計点が 25 点以上 ( )	
身体状況・姿勢 (該当に○)	( ) 寝たきり、( ) 座位可能、( ) ずり這い、 ( ) 歩行不安定、( ) 自立歩行可	
移動	( ) バギー、車いす等・( ) その他( )	
てんかん発作	( ) 有・( ) 無	
てんかんの服薬	( ) 有・( ) 無	
食事	( ) 経管栄養 ( ) 経管栄養と経口摂取との併用を含む ( ) 加工（ペースト・ミキサー・細かいきざみ・粗刻みなど） ( ) 普通	
排泄	( ) オムツの使用 ( ) 回/日程度 ( ) 導尿、( ) その他( )	
排便	( ) 通常排便、( ) 排便援助が必要 ( ) 浣腸・( ) 下剤	

## Ⅱ 主たる介護者について

10 主に介護をしている方は誰ですか（在宅障がい児者等ご本人から見た続柄）

続柄	母・父・配偶者・姉・兄・妹・弟・ 娘・息子・祖母・祖父・ その他（ ）	年齢	歳
----	---	----	---

11 主に介護をしている方の健康状態

健康状態	（ ）良い・（ ）不安がある・（ ）良くない（内容： ）		
睡眠時間	約 時間/日	（ ）まとまった時間眠れる・（ ）短時間睡眠を複数回	

12 日頃主に介護をする方が1日以上介護できない場合に、ご親族等の中で、代わりに介護をお願い出来る方はいますか（在宅障がい児者等ご本人から見た続柄：該当に○）

同居の家族	親・配偶者・兄弟姉妹・子・祖父母・ その他（ ）
別居の家族	親・配偶者・兄弟姉妹・子・祖父母・ その他（ ）
親戚	具体的には：
その他の知り合い	具体的には：
いない	（ ）該当の場合○

13 ご家庭で医療的ケアが必要な場合は、どなたが実施していますか  
（在宅障がい児者等ご本人から見た続柄：該当に○）

主に実施する方	母・父・配偶者・姉・兄・妹・弟・ 娘・息子・祖母・祖父・その他（ ）	
上記の主な方が実施出来ない時に、代わりができる人がいますか	いる （複数回答可）	母・父・配偶者・姉・兄・妹・弟・ 娘・息子・祖母・祖父・その他（ ）
	いない	（ ）該当の場合○

14 在宅で介護するうえで負担と感じていることを教えてください  
（負担と感じているものに3つまで○を付してください）。

回答欄	区 分	自 由 記 入 欄
	医療的ケア	
	入浴介助	
	食事介助	
	排泄・排便介助	
	着脱介助	
	移動介助	
	睡眠時間など（介護者）	
	通院などの外出（介護者）	
	健康状態（介護者）	
	その他	内容：



15 日頃の悩みや、分からないことを尋ねる際に、頼りにしている相談先・相談相手を教えてください  
(主なものを3つまで○を付してください)。

区 分	( ) 内に○ (3つまで)
通院 (入院) 先の病院	( ) 医師、 ( ) 看護師、 ( ) リハビリ職、 ( ) その他 (内容: )
訪問診療のかかりつけ医	( ) 医師、 ( ) 看護師、 ( ) リハビリ職、 ( ) その他 (内容: )
訪問看護ステーション	( ) 看護師、 ( ) リハビリ職、 ( ) その他 (内容: )
薬局	( ) 薬剤師、 ( ) その他 (内容: )
特別支援学校	( ) 教諭、 ( ) 看護講師、 ( ) その他 (内容: )
利用する福祉サービス事業者	( ) 福祉職、 ( ) 看護師、 ( ) リハビリ職、 ( ) その他 (内容: )
相談支援事業者	( ) 相談支援専門員、 ( ) その他 (内容: )
子ども相談センター	( ) 相談員、 ( ) その他 (内容: )
保健所	( ) 保健師、 ( ) その他 (内容: )
市町村 (福祉・保健) の窓口	( ) 相談員、 ( ) その他 (内容: )
関係団体	( ) 相談員、 ( ) その他 (内容: )
保護者同士のサークル	( ) 先輩の保護者、 ( ) 同年輩の保護者、 ( ) その他 (内容: )
親しい友人	( ) ご近所の方、 ( ) その他 (内容: )
インターネット	( ) 掲載情報の閲覧、 ( ) ネットワークを利用した交流
その他	( ) (内容: )
相談先・相談相手がいない	( )

16 日頃不安・不満に感じていることを教えてください (3つまで○を付してください)。

回答欄	区 分	補足・自由記入欄
	常に多忙で時間に追われて (拘束されて) いる	
	介護などでゆっくり眠ることができない	
	常に疲れがたまっていて、とれる暇がない	
	自分のための時間、気分転換する時間がとれない	
	支援先探しや利用手続きを、自分でやらなければならない	
	日頃の悩みや今後について、頼れる相談相手がいない	
	兄弟など、他の家族と関係を持つ時間がとれない	
	介護以外の部分で、家族の十分な協力が得られない	
	急変悪化時の対処などで、常に不安を抱えており心が休まらない	
	障がいの受け入れや、愛着形成の面が不安である (揺り戻しがある)	
	特別支援学校卒業後や、在宅での介護が限界になった後の居場所が不安である	
	孤立感を感じている、家に籠りがちで孤独である	
	その他	内容:

### Ⅲ 医療サービスの利用状況

17 ここ1年の医療サービス利用状況(複数ある場合は主なものを最大2つまで記載願います)

訪問診療	医療機関名①		主治医氏名①	
	利用周期①	日間・週間・ヶ月間	ごと	※該当する箇所に数字を記載 例：1週間ごと
	医療機関名②		主治医氏名②	
	利用周期②	日間・週間・ヶ月間	ごと	※該当する箇所に数字を記載 例：1週間ごと
通院	医療機関名① (診療科)	小児科・内科・整形外科・その他( )	主治医氏名①	
	利用周期①	日間・週間・ヶ月間	ごと	※該当する箇所に数字を記載 例：1ヶ月間ごと
	医療機関名② (診療科)	小児科・内科・整形外科・その他( )	主治医氏名②	
	利用周期②	日間・週間・ヶ月間	ごと	※該当する箇所に数字を記載 例：1ヶ月間ごと
入院 ※機会が多い場合は、利用頻度や入院期間の長さを目安に最大2つまで記載してください	医療機関名① (診療科)	小児科・内科・整形外科・その他( )	大まかな入院期間	約 日間・週間・ヶ月間
	主治医氏名①		入院した理由	
	主治医氏名①		付き添いをした人	父・母・兄弟姉妹・その他( )
	医療機関名② (診療科)	小児科・内科・整形外科・その他( )	大まかな入院期間	約 日間・週間・ヶ月間
	主治医氏名②		入院した理由	
	主治医氏名②		付き添いをした人	父・母・兄弟姉妹・その他( )
訪問看護	訪問看護ST名称①		担当氏名①	
	利用周期①	毎日・1週間に 回 特定日( 曜日 )	1回の利用時間①	時間
	訪問看護ST名称②		担当氏名②	
	利用周期②	毎日・1週間に 回 特定日( 曜日 )	1回の利用時間②	時間
リハビリ	利用先の名称①		利用形態①	( ) 訪問リハ ( ) 通院リハ
	利用種別①(該当に○)		( ) PT、( ) OT、( ) ST	
	利用先の名称②		利用形態②	( ) 訪問リハ ( ) 通院リハ
	利用種別②(該当に○)		( ) PT、( ) OT、( ) ST	
歯科	利用先 歯科名称		利用形態	( ) 訪問診療 ( ) 通院
訪問薬剤管理指導	利用先 薬局名称		※在宅への薬や点滴の配達、服薬指導 など	
病児保育	利用先の 名称			

18 かかりつけ医（定期的な処方、診察を受ける医療機関）を決めるにあたり、重視する点について、どのようにお考えですか。  
（複数ある場合は**3つまで**○を付してください）。

回答欄	区 分	自 由 記 入 欄
	症状を初期の頃から知っている	
	常勤の医師が充実している	
	看護師が充実している	
	人工呼吸器など濃厚な医療的ケアに対応可能	
	入院、他施設への紹介がスムーズである	
	保護者様の家から近いこと	
	送迎サービスがある	
	その他	内容：

19 診療時間外（夜間、休日、祝日等）に体調が急変した場合に、受診する医療機関について、次のどれが該当しますか（複数ある場合は**3つまで**○を付してください）。

(該当に○)	区 分
( )	特に決まっていない
( )	かかりつけ医への通院
( )	かかりつけ医による訪問診療
( )	休日夜間救急への通院
( )	総合病院救急外来への通院

20 今後使いたい医療サービスを教えてください（**3つまで**○を付してください）。

回答欄	区 分	自 由 記 入 欄
	訪問診療できる開業医	
	通院できる総合病院	
	訪問看護ステーション	
	リハビリ実施機関	
	その他	内容：

#### Ⅳ 福祉サービスの利用状況

21 福祉サービスの利用状況について（最大2つ（レスパイト系サービスのみ3つ）までご回答ください）

##### 訪問系サービス（居宅介護、重度訪問介護 など）

…自宅にヘルパー等がお伺いし、入浴、排せつ、食事の介護等を行います。

事業者・施設の名称①	
利用周期①	ほぼ毎日 ・ 1週間に数回 ・ 1ヶ月に数回 ・ その他( )
事業者・施設の名称②	
利用周期②	ほぼ毎日 ・ 1週間に数回 ・ 1ヶ月に数回 ・ その他( )

##### 日中活動サービス（生活介護 など）

…昼間施設に通う方に、入浴、排せつ、食事の介護や、創作的・生産活動等を提供します。

事業者・施設の名称①	
利用周期①	ほぼ毎日 ・ 1週間に数回 ・ 1ヶ月に数回 ・ その他( )
事業者・施設の名称②	
利用周期②	ほぼ毎日 ・ 1週間に数回 ・ 1ヶ月に数回 ・ その他( )

##### レスパイト系サービス（短期入所、日中一時支援 など）

…保護者が病氣・用事・休息等の際、施設で短期間入浴、排せつ、食事の介護等を行います。

事業者・施設の名称①		宿泊の可否	可 ・ 不可
利用周期①	1週間に数回 ・ 1ヶ月に数回 ・ 1年に数回 ・ その他( )		
事業者・施設の名称②		宿泊の可否	可 ・ 不可
利用周期②	1週間に数回 ・ 1ヶ月に数回 ・ 1年に数回 ・ その他( )		
事業者・施設の名称③		宿泊の可否	可 ・ 不可
利用周期③	1週間に数回 ・ 1ヶ月に数回 ・ 1年に数回 ・ その他( )		

##### 18歳未満児のみを対象としたサービス（児童発達支援、放課後等デイサービス など）

…未就学児や学校時間外を対象に、施設に通い生活能力向上や集団生活適応に向けた訓練等を行います。

事業者・施設の名称①	
利用周期①	ほぼ毎日 ・ 1週間に数回 ・ 1ヶ月に数回 ・ その他( )
事業者・施設の名称②	
利用周期②	ほぼ毎日 ・ 1週間に数回 ・ 1ヶ月に数回 ・ その他( )

##### その他のサービス（病児保育、移動支援、訪問入浴 など）

…上記に含まれないと思われるサービスが更にある場合にご記載ください。

事業者・施設の名称①	
利用周期①	ほぼ毎日 ・ 1週間に数回 ・ 1ヶ月に数回 ・ 1年に数回
利用サービスの概要①	
事業者・施設の名称②	
利用周期②	ほぼ毎日 ・ 1週間に数回 ・ 1ヶ月に数回 ・ 1年に数回
利用サービスの概要②	

22 今後使いたい福祉サービスを教えてください（3つまで○を付してください）。

※含まれるサービスの例や内容については、質問項目 21 を参照してください。

回答欄	区 分	自 由 記 入 欄
	訪問系サービス	
	日中活動サービス	
	レスパイト系サービス	
	18歳未満児対象サービス	
	障害児（者）入所施設（※1）	
	その他	内容：

※1…障がい児等が施設に入所し、日常生活指導や機能訓練、看護、介護等の長期療養を行います。

## V 重症心身障がい者等入所施設について

23 重症心身障がい者等の入所施設が新たに整備された場合、入所を希望されますか。また、その理由や時期についてもお聞かせください。

区 分	該当の（ ）に○を付してください（主なものに1つ）
（ ） 希望する（理由・入所時期についてもお答えください）	
理 由 ※いずれか 1つ	（ ） 介護者・家族の疲弊
	（ ） 在宅支援サービスの不足
	（ ） 介護者・家族の体調不良
	（ ） いずれ介護者が介護できなくなった時に備えて
	（ ） その他（内容： ）
入所時期 ※いずれか 1つ	（ ） いますぐ
	（ ） 空きができたら
	（ ） 介護者が介護できなくなった時
	（ ） その他（内容： ）
（ ） 現時点では未定	

24 施設への入所を検討する際に重視する点について、どのようにお考えですか。（3つまで○を付してください）。

回答欄	区 分	自 由 記 入 欄
	常勤医師が充実している	
	看護師が充実している	
	福祉職等の介護スタッフが充実している	
	リハビリ等の療育スタッフが充実している	
	人工呼吸器など濃厚な医療的ケアに対応可能	
	併設施設に総合病院機能、救命救急機能がある	
	保護者様の家から近いこと	
	プライバシーへの配慮（全室個室対応など）	
	そ の 他（内容： ）	

25 施設を新たに整備する場合の、立地場所についてお聞かせください  
(該当するものに1つだけ○を付してください)。

回答欄	区 分	補 足 ・ 自 由 記 入 欄
	ご自宅から車で30分以内の場所	
	ご自宅から車で1時間以内の場所	
	ご自宅から車で2時間以内の場所	
	どこでもよい	

※調査票の記入は以上で終了です。  
ご多忙のところご協力いただき、誠にありがとうございました。

この調査票は、郵送にて直接下記へお送りください。(※返信用封筒をご使用ください。)

宛先：〒500-8570 岐阜市藪田南 2-1-1  
岐阜県健康福祉部地域医療推進課障がい児者医療推進室 あて

施設入所者の状況について

## 目 次

I	調査の概要	
1	調査の目的	・・・ 1
2	調査対象	・・・ 1
3	調査方法等	・・・ 1
4	調査期間	・・・ 1
5	調査内容	・・・ 1
II	調査結果	
1	施設別入所者数	・・・ 2
2	圏域別入所者数	・・・ 3
3	男女別・年齢別階級	・・・ 3
4	手帳取得状況	・・・ 4
5	入所期間	・・・ 5
6	医療依存度の状況	・・・ 6
7	県外入所者について	・・・ 7



## I 調査の概要

### 1 調査の目的

本県における重症心身障がい児者等の全体像を把握するには、在宅で生活する方々に加え、施設入所の方々に対する調査が不可欠であるため、「岐阜県在宅重症心身障がい児者等実態調査」と並行して、別途施設入所者を対象とする実態調査を実施した。

### 2 調査対象

「岐阜県在宅重症心身障がい児者等実態調査」で入所先施設として確認できた県内外の医療機関（療養介護事業所等）及び福祉施設に入所している、以下に該当する方を調査対象とした。

- (1)身体障害者手帳1級または2級(肢体不自由の体幹、下肢、移動機能)と、療育手帳A・A1・A2を併せ持つ方
- (2)手帳取得の有無にかかわらず(1)に準ずる状態にあると考えられる方
- (3)その他、概ね3ヶ月以上の長期入院されている方

### 3 調査方法等

郵送調査

### 4 調査期間

平成27年3月～平成27年8月

回答は平成26年7月1日現在の状況として記載を求めた。

### 5 調査内容

入所者の住所、年齢、性別、身体障害者手帳及び療育手帳の等級、入所開始年月日、必要な医療的ケアの状況

## II 調査結果

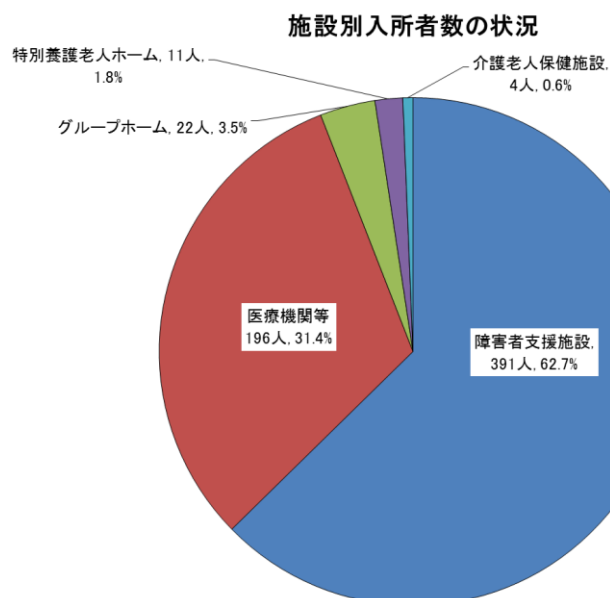
### 1 施設別入所者数

83 施設に送付し、76 施設から回答(回答率 91.5%)を得た。県外の施設を含め、岐阜県出身の重症心身障がい児者 624 人が施設入所をしており、中でも障害者支援施設に約 6 割が、医療機関（療養介護事・医療型障害児入所施設等）に約 3 割の方が入所している。

#### ■施設別回答状況

		回答数	入所者数
障害者支援施設	県内	33	380
	県外	5	11
医療機関(療養介護・医療型障害児入所施設等)	県内	3	117
	県外	13	79
グループホーム	県内	7	21
	県外	1	1
特別養護老人ホーム	県内	11	11
	県外	0	0
介護老人保健施設	県内	3	4
	県外	0	0
合計		76	624

※「医療機関（療養介護・医療型障害児入所施設等）」は以下、「医療機関等」と記載する。



## 2 圏域別入所者数

圏域別では、岐阜市出身の入所者が最も多く、飛騨圏域の入所者が最も少ない。

### ■圏域別重症心身障がい児者数

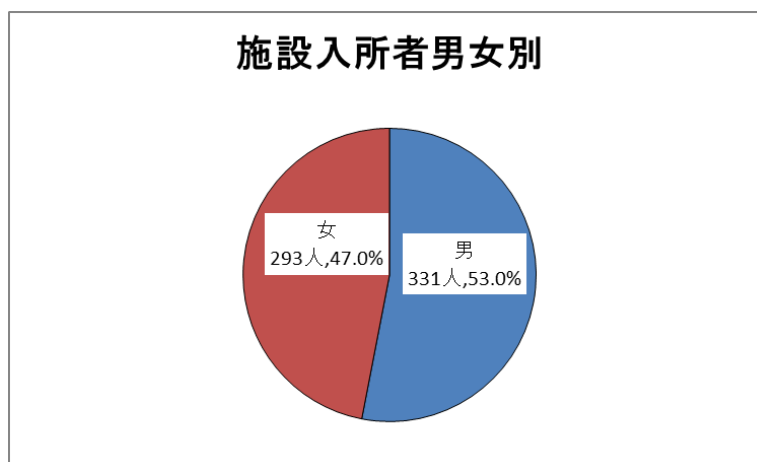
	岐阜市	岐阜	西濃	中濃	東濃	飛騨	不明	合計
人数	142	103	101	114	99	64	1	624
割合	22.8	16.5	16.1	18.3	15.9	10.3	0.1	100

## 3 男女別・年齢別階級

男女別の割合では、大きく差は見られなかった。年齢階級別にみると 30 歳代で入所者が増えている。

### ■男女別入所者

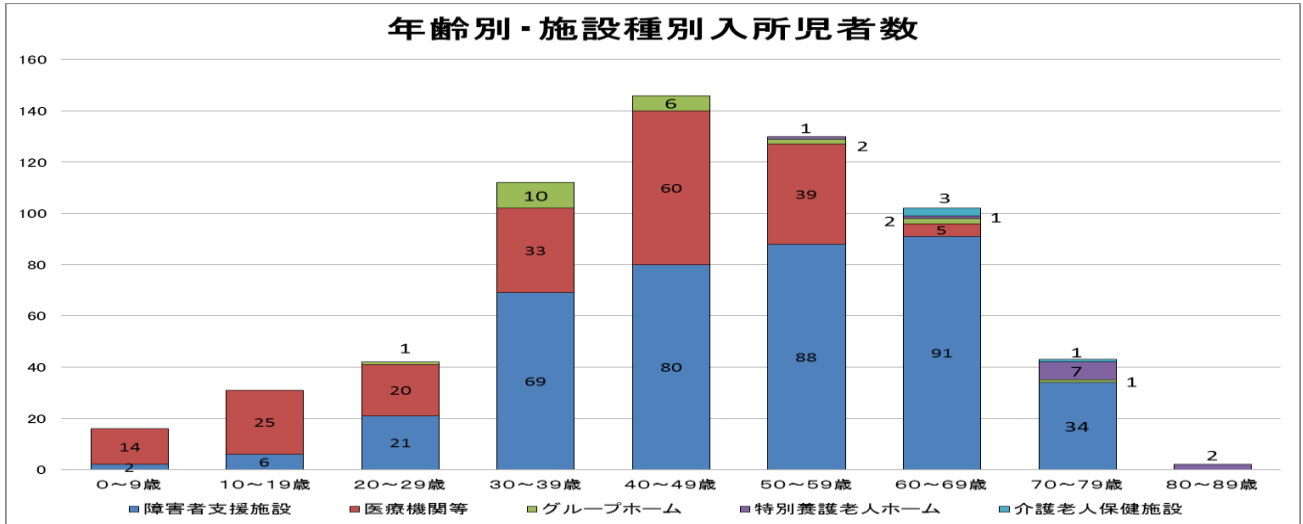
	人数	割合(%)
男	331	53.0
女	293	47.0
合計	624	100.0



### ■施設別、男女別・年齢階級別入所者数

(人)

		0～9	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	計
		歳	19歳	29歳	39歳	49歳	59歳	69歳	79歳	89歳	
障害者支援施設	男	2	4	11	44	54	36	41	19	0	211
	女	0	2	10	25	26	52	50	15	0	180
医療機関等	男	11	15	11	15	31	17	2	0	0	102
	女	3	10	9	18	29	22	3	0	0	94
グループホーム	男	0	0	0	7	4	0	2	1	0	14
	女	0	0	1	3	2	2	0	0	0	8
特別養護老人ホーム	男	0	0	0	0	0	0	1	2	0	3
	女	0	0	0	0	0	1	0	5	2	8
介護老人保健施設	男	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3
合計	男	13	19	22	66	89	53	46	23	0	331
	女	3	12	20	46	57	77	56	20	2	293

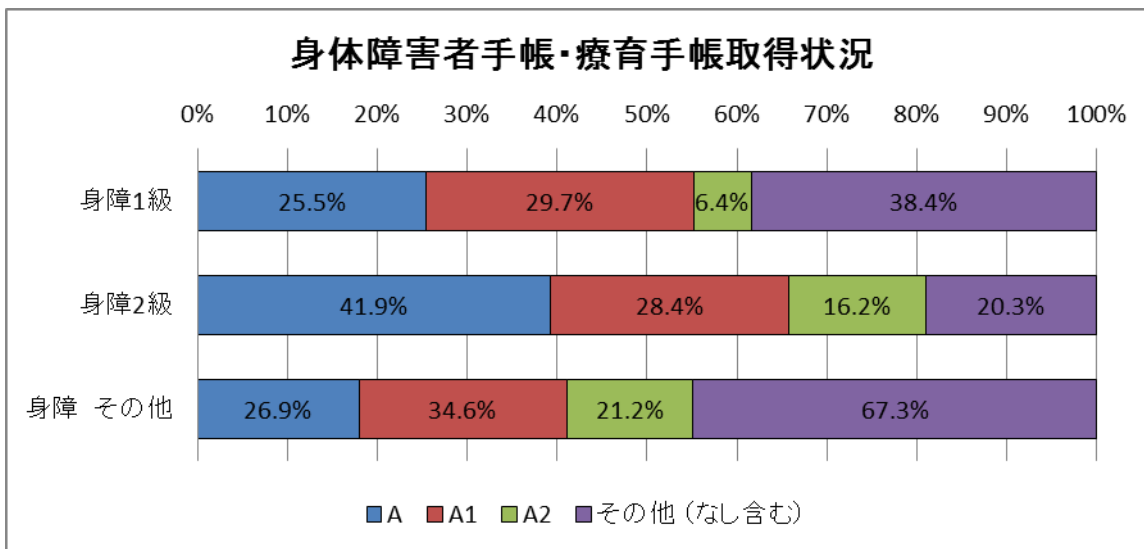


#### 4 手帳取得状況

手帳の取得は「身体障害者手帳1級」と「療育手帳A1」を併せ持つ方が最も多かった。「身体障害者手帳1級または2級」と「療育手帳A・A1・A2のいずれか」を併せ持つ方を合計すると389人であった。

#### ■身体障害者手帳・療育手帳取得状況

療育	A	A1	A2	その他 (なし含む)	計
身障					
身障1級	108	126	27	163	424
身障2級	62	42	24	30	148
身障その他(未記入)	14	18	11	35	52
計	184	186	62	241	624



## 5 入所期間

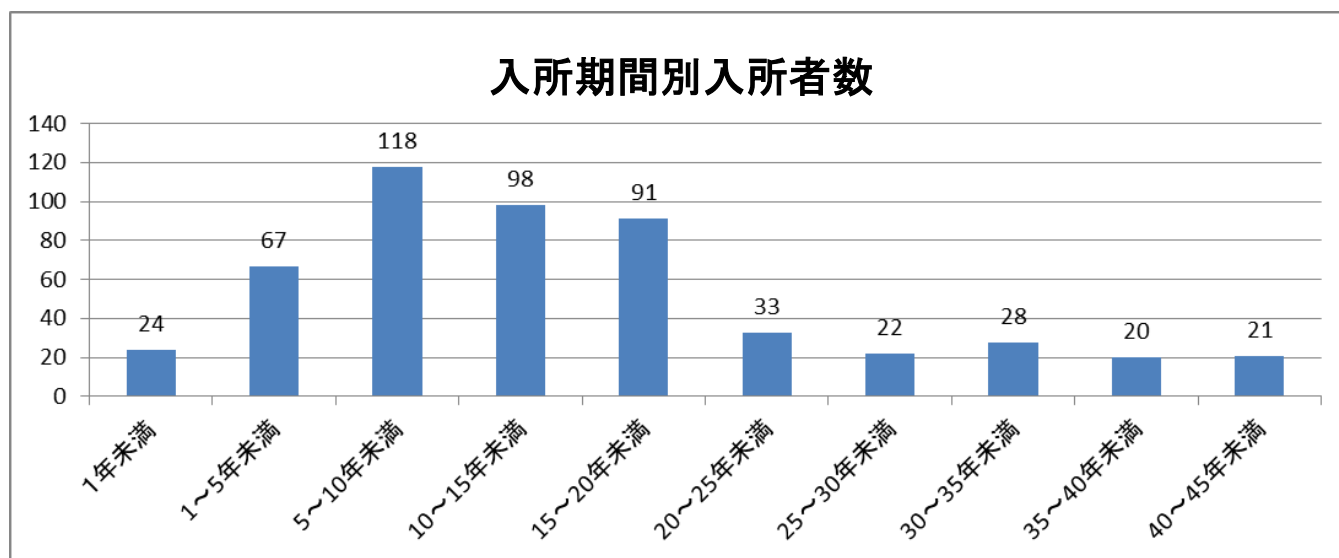
入所期間は障害者支援施設では5～20年未満の方が最も多かった。30年以上の方も39人いた。グループホーム、特別養護老人ホームでは10年未満の方がほとんどであった。医療機関等では15年未満の方が比較的多い。

### ■施設別入所期間

(人)

	計	1年未満	1～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20～25年未満	25～30年未満	30～35年未満	35～40年未満	40～45年未満	不明その他
障害者支援施設等	391	17	39	92	79	83	28	14	21	12	4	2
医療機関等	117	4	13	19	15	5	5	7	7	7	17	18
グループホーム	22	3	9	2	4	2	0	1	0	1	0	0
特別養護老人ホーム	11	0	3	5	0	1	0	0	0	0	0	2
介護老人保健施設	4	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1
<b>合計</b>	<b>545</b>	<b>24</b>	<b>67</b>	<b>118</b>	<b>98</b>	<b>91</b>	<b>33</b>	<b>22</b>	<b>28</b>	<b>20</b>	<b>21</b>	<b>23</b>

※医療機関等のうち県外療養介護事業所利用の79人は除く



## 6 医療依存度の状況

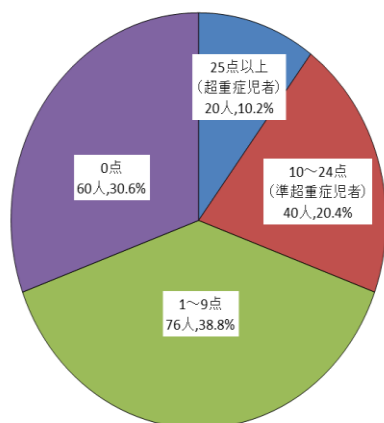
### (1) 医療的ケア判定スコア別人数

スコア別に見ると、超重症児者(25点以上)は20人(3.0%)で全て医療機関等に入所しており、準超重症児者は56人(9.0%)、9点～1点は226人(36.2%)であった。障害者支援施設、グループホーム、特別養護老人ホームには、9点以下の医療スコアが低い方が多い。

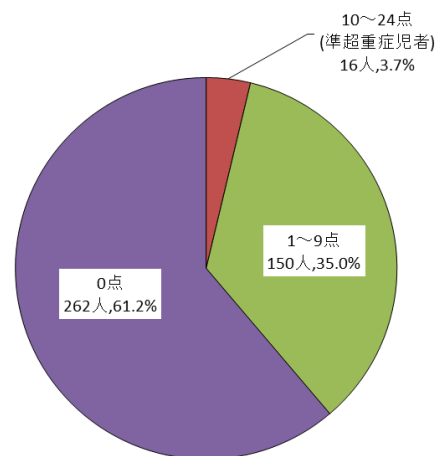
#### ■医療的ケア判定スコア別人数

	0点	1～9点	10～24点 (準超重症児者)	25点以上 (超重症児者)	計(人)
障害者支援施設	233	143	15	0	391
医療機関等	60	76	40	20	196
グループホーム	21	1	0	0	22
特別養護老人ホーム	7	4	0	0	11
介護老人保健施設	1	2	1	0	4
合計	322	226	56	20	624

医療機関等の医療依存度割合



医療依存度割合(障害者支援施設・グループホーム・特養・老健)



医療的ケアは食事に関する「全介助が必要な経口摂取」が175人(28.0%)と最も多く、次いで「体位交換6回/日以上」が147人(23.6%)、次いで、「経鼻・胃ろう」が111人(17.7%)であった。

グループホーム、特別養護老人ホームでは医療的ケアを必要とする方は少数であった。

「人工呼吸器管理」や「気管内挿管・気管切開」等の濃厚な医療的ケアを必要とする方のほとんどは、医療機関等に入所している。

■ 医療的ケアの内容

	スコア	障害支援施設	療養介護・医療型障害児入所施設	グループホーム	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	合計(人数)	割合(624人)
		391	196	22	11	4	624	(%)
人工呼吸器管理	10	0	20	0	0	0	20	3.2
気管内挿管、気管切開	8	1	33	0	0	0	34	5.4
鼻咽喉頭エアウェイ	5	0	1	0	0	0	1	0.2
酸素吸入またはSaO2が90%以下の状態が10%以上	5	3	10	0	0	0	13	2.1
1回/時以上の頻回吸引	8	3	26	0	0	0	29	4.6
6回/日以上の頻回吸引	3	7	29	0	0	0	36	5.8
ネブライザー(吸入器)継続使用または6回/日以上の使用	3	0	7	0	0	0	7	1.1
IVH(中心静脈栄養)	10	0	0	0	0	0	0	0.0
全介助が必要な経口摂取	3	111	59	1	3	1	175	28.0
経鼻・胃ろう	5	34	75	0	0	2	111	17.7
腸ろう・腸管栄養	8	1	0	0	0	0	1	0.2
持続注入ポンプ使用(腸ろう・腸管栄養時)	3	0	0	0	0	0	0	0.0
過緊張で発汗による更衣と姿勢修正を3回/日以上	3	3	27	0	0	0	30	4.8
継続的な透析(腹膜灌流を含む)	10	1	0	0	0	0	1	0.2
定期導尿(3回/日以上)	5	6	2	0	0	0	8	1.3
人工肛門	5	6	0	0	0	1	7	1.1
体位交換6回/日以上	3	51	91	0	4	1	147	23.6

(複数回答有)

7 県外入所者について

施設入所者のうち 91 人が県外施設に入所している。圏域別には、西濃圏域、飛騨圏域出身者が多い。また県外施設入所者のうち 15 人(16.5%)の方が岐阜県内施設への入所を希望している。

■ 圏域別県外施設入所者数

(人)

	岐阜市	岐阜圏域	西濃圏域	中濃圏域	東濃圏域	飛騨圏域	不明	合計
愛知県	2		1	4	8			15
三重県			1	1	3			5
富山県						8		8
石川県	3	3		2		6		14
福井県	8	9	5	3	1	3		29
長野県		1		1			1	3
滋賀県			13	3	1			17
合計	13	13	20	14	13	17	1	91

